

文化財年報47 令和7年度



南小泉遺跡出土 須恵器 把手付碗

令和8年9月
仙台市教育委員会

目 次

目 次

例 言

序 文

I. 文化財の保護管理	1
II. 文化財の普及啓発	7
III. 埋蔵文化財の調査	16
IV. 文化財の調査	22
V. 指定文化財及び登録文化財一覧	38
VI. 仙台市文化財調査報告書刊行目録	48

職員録

例 言

- 1 本書は仙台市教育委員会生涯学習部文化財課が、令和7年度に実施した文化財の保護・管理・普及啓発ならびに埋蔵文化財調査の各事業に係る年度報告書である。
- 2 本書に掲載した地形図は、国土交通省国土地理院発行5万分の1「仙台」等を使用し、5万分の1以外の縮尺となる場合は縮尺を記した。
- 3 本書の編集は仙台市教育委員会生涯学習部文化財課が行った。

表紙：南小泉遺跡から出土した古墳時代中期の須恵器です。南小泉遺跡は、広瀬川と名取川の合流地点より北へ約3kmの場所に所在し、「宮城野海岸平野」と呼ばれる沖積平野の自然堤防上に遠見塚古墳と接して立地しています。本資料は令和6年度に実施した第108次発掘調査で出土しました。ティーカップのような形状で、出土例も少なく、非常に貴重な発見例となりました。

序 文

令和7年度は、文化財の保存と活用を一体的に推進する動きが引き続き全国的に進展し、文化財を地域社会の中で活かしていく取り組みが一層重要性を増した年となりました。近年頻発する自然災害への備えや、文化財のデジタル化・公開の推進など、文化財を未来へ継承するための環境整備も着実に進められております。

こうした状況のもと、本市においても、地域の歴史と文化を次世代へと確実に引き継ぐため、文化財の保存と活用の両面から各種施策を推進してまいりました。

なかでも、仙台北城跡においては、大手門の復元に向けた基本的な考え方や整備の方向性を示す「仙台北城大手門復元基本構想」を策定し、本市を象徴する歴史的景観の再生に向けた新たな一歩を踏み出しました。本市の将来的な歴史資源の価値を高め、広く発信していく上で、重要な意義を有するものです。

また、史跡仙台北郡山官衙遺跡群においては、今後の保存・整備・活用の基本的な方向性を示す「史跡仙台北郡山官衙遺跡群整備基本計画」を策定し、歴史的価値の適切な継承と、その魅力を活かした活用に向けた取り組みを一層推進するための基盤を整えました。

発掘調査においては、市内各遺跡で継続的に調査を実施し、新たな知見の蓄積に努めるとともに、高江遺跡や郡山遺跡などにおいて、着実な成果をあげてまいりました。

文化財の普及啓発においては、文化財展の開催や各種刊行物・映像資料の制作、体験型事業や講座の実施など、多様な手法により市民の理解と関心の向上を図りました。さらに、学校教育との連携による出前授業や職場体験、文化財サポーターの養成など、人材育成の取り組みにも引き続き力を注いでおります。

仙台北市歴史民俗資料館や地底の森ミュージアム、縄文の森広場等の施設においては、展示や体験学習の充実を図り、多くの市民に文化財に親しむ機会を提供してまいりました。中でも、歴史民俗資料館においては、令和7年12月に来館者数100万人を達成し、昭和54年の開館から大きな節目を迎えることができました。

本書後段には「指定文化財及び登録文化財一覧」並びに「調査報告書目録」等を掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

今後とも、文化財の保存と活用の調和を図りながら、本市の貴重な文化遺産を未来へと継承してまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年9月

仙台北市教育委員会
教育長 天野 元

I. 文化財の保護管理

1. 文化財の指定

令和7年度は、次のとおり指定・登録を行った。

○登録有形文化財（彫刻）「木造菩薩立像」：令和7年4月24日（告示）

構造と作風の特徴から鎌倉時代に制作されたと考えられ、過去の修理により補われた部分があるものの、頭部・胴体の大部分に当初の木材が残されている。基本的な造形は変更されておらず、仙台市内でも数少ない鎌倉時代にさかのぼる貴重な仏像であると評価される。

○指定有形文化財（古文書）「朴沢文書」：令和7年8月29日（告示）

鎌倉時代、宮城郡山村（やまむら）（現泉区朴沢・根白石・七北田ほか）に所領を得た大河戸（おおかわど）氏の一族である朴沢氏に伝わった古文書群。仙台市内に現存する中世の古文書は少なく、鎌倉・南北朝時代における仙台市の歴史が記録された貴重な文化財であると評価される。

○指定有形文化財（考古資料）「仙台城本丸跡出土ガラス製品」：令和8年3月30日（告示）

仙台城本丸跡の発掘調査で出土したガラス製品474点（いずれも破片）からなる。近世初期における、ヨーロッパから仙台藩への物流の歴史を語る上で重要であるとともに、伊達家の海外文化への関心を窺わせる点において、非常に高い価値を有する資料と評価される。

○指定有形文化財（考古資料）「若林城跡出土織部皿」：令和8年3月30日（告示）

若林城跡の発掘調査で出土した、17世紀前半のものと考えられる織部皿で、製作技法から弥七田古窯で生産されたものと評価されている。若林城跡の性格を考える上で欠かすことが出来ない重要な資料であるとともに政宗の趣味嗜好が垣間見える資料として価値が高いと評価される。

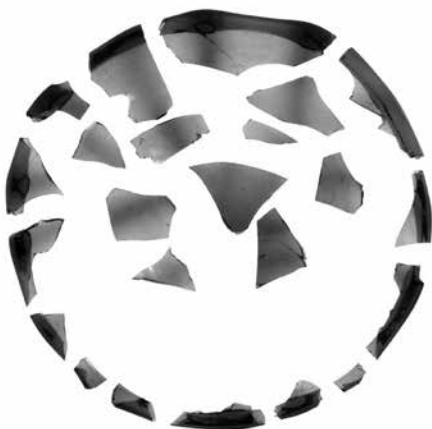
また、以下の文化財の指定・登録が抹消となった。

○指定有形文化財「躑躅ヶ岡花見図屏風」（絵画）：令和7年12月9日（告示）

「躑躅ヶ岡花見図」として県指定有形文化財に指定されたため。

○登録有形文化財「大滝不動堂」（建造物）：令和7年11月17日（告示）

「西光寺大滝不動堂」として国登録有形文化財に登録されたため。



仙台城本丸跡出土ガラス製品



若林城跡出土織部皿

2. 文化財の調査

未指定文化財の調査として、「堤焼の生産用具と製品及び関連資料民俗文化財調査事業」を実施し、令和6年度に引き続き1,042件（うち1,000件は出荷台帳等の紙資料）の資料の整理及び目録作成を行った。これにより資料群の総件数が3,827件で確定し、令和5年度より実施してきた当該事業による資料整理は完了した（詳細は本書Ⅳ参照）。

3. 文化財保護審議会

仙台市文化財保護審議会は、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議を行い、教育委員会に建議することを所掌事務とする。令和7年度は下記のとおり3回開催した。

日程	主な議題等
第1回（8／7）	(1) 令和6年度文化財課主要事業の実績について (2) 令和7年度文化財課主要事業の予算について (3) 仙台市文化財保存活用地域計画について (4) 有形文化財（古文書）の指定について（答申） (5) 令和8年度以降の文化財指定・登録について
第2回（12／2）	(1) 仙台市文化財保存活用地域計画について (2) 有形文化財（考古資料2件）の指定について（諮問） (3) 「仙台城大手門復元基本構想」（中間案）について (4) 「史跡仙台郡山官衙遺跡群整備基本計画」（中間案）について
第3回（3／19）	(1) 仙台市文化財保存活用地域計画について (2) 有形文化財（考古資料2件）の指定について（答申） (3) 「仙台城大手門復元基本構想」（最終案）について (4) 「史跡仙台郡山官衙遺跡群整備基本計画」（最終案）について (5) 令和7年度埋蔵文化財調査の成果について

4. 補助事業

(1) 有形文化財補助

指定文化財の保存管理のため、次の事業に対して補助を行った。

〔防災設備保守点検〕

大崎八幡宮管理事業、東照宮管理事業、陸奥国分寺薬師堂管理事業、東北学院旧宣教師館管理事業、諏訪神社本殿管理事業、賀茂神社本殿管理事業、落合観音堂管理事業、宇那禰神社本殿管理事業、愛宕神社本殿・拝殿管理事業、大満寺虚空蔵堂管理事業、臨濟院地内弁財天堂管理事業

(2) 無形文化財補助

国指定重要無形文化財「精好仙台平」の無形文化財技術保持事業は、技術保持者の死去に伴い中止されたことを受け、補助を取り消した。

(3) 無形民俗文化財補助

次の民俗芸能の保護団体（13団体）が実施した無形民俗文化財保持事業に対して補助を実施した。

湯元田植踊保存会、長袋の田植踊保存会、馬場の田植踊保存会、大崎八幡宮能神楽保存会、下倉の田植

I. 文化財の保護管理

踊保存会，川前の鹿踊・剣舞保存会，滝原の踊拝保存会，上谷刈の鹿踊・剣舞保存会，福岡の鹿踊・剣舞保存会，大沢田植踊保存会，馬場愛宕神社神楽保存会，生出森八幡神楽保存会，仙台消防階子乗り保存会

5. 文化財の管理

(1) 史跡等の維持管理

遠見塚古墳，三沢初子の墓，松森焰硝蔵跡，陸奥国分寺跡，陸奥国分尼寺跡，仙台郡山官衙遺跡群，仙台城跡について，定期的に除草清掃を行った。

(2) 有形文化財及び記念物の現状変更等

①有形文化財，有形民俗文化財

区分	種別	名 称	内 容	件数	備 考
国指定	建	大崎八幡宮	修理届	1	漆塗り直し (1)
			き損届	1	屋根破損 (1)
国指定	建	大崎八幡宮長床	き損届	1	屋根破損 (1)
国指定	建	東照宮	防災施設機能不能の 発見報告	4	補助事業による防災施設の機能不能 (4)
			き損届	1	隨身門柱破損 (1)
県指定	建	宮城県知事公館正門 (旧仙台城門)	き損届	1	クマバチによる穿孔被害 (1)
県指定	建	旧歩兵第四連隊兵舎	現状変更	1	トイレ改修 (1)
			修理届	1	キャッチボールによるガラス破損 (1)
			き損届	1	キャッチボールによるガラス破損 (1)
市指定	建	旧伊達邸	修理届	1	受信機更新 (1)
市指定	建	輪王寺山門	現状変更	1	動物被害による柱下部銅板巻き (1)
市指定	建	旧石垣家住宅	き損届	2	土壁穿孔 (1)，屋根破損 (1)，
市指定	建	旧姉齒家茶室 (残月亭)	現状変更	1	雨戸敷居テープ設置・戸板交換・雨戸丁番交換 (1)
県指定	美工	木造阿弥陀如来立像 (泉区福岡)	所在場所変更届	1	市博への寄託による (1)
			管理責任者選任届	1	市博への寄託による (1)
市指定	美工	春日社古墳出土副葬品 (うち鉄矛)	所在場所変更届	1	赤石収蔵庫へ移動 (1)
市指定	有民	上前十三塚	所有者変更届	1	相続による変更 (1)
			指定書再発行	1	亡失による (1)

②記念物

区分	種別	名 称	内 容	件数	備 考
国指定	史	陸奥国分寺跡	現状変更	4	範囲確認調査 (1)，電柱等設置 (2)，防草対策工 (1)
国指定	史	仙台郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡	現状変更	4	範囲確認調査 (1)，美化活動 (1)，校庭整備 (1)， 木柵設置 (1)
国指定	史/名	陸奥国分寺跡／おくのほそ道の 風景地 (木の下及び薬師堂)	現状変更	5	工作物設置 (4)，水管等設置 (1)
国指定	史/天	仙台城跡/青葉山	き損届	5	枯損による倒木 (4)，標柱亡失 (1)
			現状変更	21	発掘調査 (1)，災害復旧工事 (1)，仮設物設置・撤去 (7)，支障木・危険木伐採 (4)，土留柵補強 (1)， 道路修繕 (2)，舗装修繕 (1)，建築物基礎及び給排水の撤去 (1)，標識の更新・撤去 (3)
国指定	史	岩切城跡	き損届	1	法面崩落 (1)
			現状変更	2	法面補強工事 (2)
市指定	史	経ヶ峯伊達家墓所	現状変更	2	手摺設置 (2)
国指定	名	秋保大滝	現状変更	2	配電線の一部撤去・近隣樹木の伐採 (1)，工作物設置 (1)

区分	種別	名 称	内 容	件数	備 考
国指定	名	おくのほそ道の風景地 (つゝじが岡及び天神の御社)	現状変更	1	工作物設置 (1)
国指定	特天	カモシカ	減失等届出	6	
国指定	天	朝鮮ウメ	現状変更	1	年間管理 (1)
国指定	天	イヌワシ	減失届	1	孵化した雛の死亡 (1)
県指定	天	賀茂神社のタラヨウ	き損届	1	腐食による大枝の折損 (1)
市指定	天	泉ヶ岳のミズバショウほか 湿生植物群生地	現状変更	2	下草刈り (2)

史：史跡 名：名勝 天：天然記念物 特天：特別天然記念物 建：建造物 美工：美術工芸品 有民：有形民俗文化財

(3) 文化財防火デー

第72回文化財防火デーに際し、令和8年1月26日を中心に仙台市消防局と連携し、管轄消防署による指定建造物の特別査察や、地域住民の協力を得て、防災訓練等を実施した。



第72回文化財防火デーの様子（大崎八幡宮）

6. 災害復旧事業

令和3年2月、令和4年3月に発生した福島県沖地震によって被災した史跡仙台北城跡について、令和7年度は本丸北西石垣及び西門石垣の復旧工事と、積み直した石垣の現況計測を国庫補助により行った。

令和5年度から継続する復旧工事では、本丸北西石垣及び西門石垣の崩落箇所及び変形箇所の積み直しを行った。現況計測では、本丸北西石垣、西門石垣、中門石垣の積み直し完了後のレーザー計測と図化を行った。



復旧完了後の仙台北城跡本丸北西石垣

7. 指定管理者制度

仙台市歴史民俗資料館及び仙台市先史遺跡保存活用施設（仙台市富沢遺跡保存館・仙台市縄文の森広場）管理運営を指定管理者制度により、公益財団法人仙台市市民文化事業団に委託している。

(1) 歴史民俗資料館

歴史民俗資料館は、榴岡公園内に存した旧陸軍第二師団歩兵第四連隊兵舎の一棟を昭和52年に同公園東側に移築・復元保存し、昭和54年11月3日に開館した。木造二階建寄棟造瓦葺で、漆喰塗りの壁や、建物の角隅のコーナーストーンの装飾・洋風円柱のポーチなどを備えた、洗練された建物で、令和5年3月24

日には宮城県最古の洋風木造建築として宮城県の有形文化財に指定された。

同資料館では、建物の維持管理とともに、江戸時代から現代の歴史・民俗資料の収集・整理・保管・展示や調査研究、普及啓発事業を行っており、収蔵資料点数は10万点を超える。常設展示は「仙台町場のくらし」、「仙台地方の農具と農家のくらし」、「旧歩兵第四連隊コーナー」、「体験学習室」などで構成される。

令和7年度は、特別展「昭和の仙台～戦争と平和・人々のくらし～」や企画展「はきものの民俗」や「くらしの中の竹」を開催し、その展示解説や関連イベント、その他4回の季節展示も実施して計22,265人の来館者があった。この他、「足元からみる民俗」の継続調査をはじめとした調査研究報告や特別展図録、資料集などの刊行物の発行、クイズラリー、れきみん講座などのイベント、体験学習、講師派遣、職場体験、学校連携事業などを実施し、市民の生涯学習活動への支援を行った。

(2) 富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）

富沢遺跡保存館は、学校建設に伴う発掘調査で発見された2万年前の旧石器時代の活動痕跡と森林跡をそのままの状態で保存活用を図るテーマミュージアムとして、平成8年11月2日に開館し、公募をもとに決定した愛称「地底の森ミュージアム」で広く市民に親しまれている。

野外展示「氷河期の森」は発掘調査により判明した当時の植生を復元したもので、市民の憩いの場となっている。およそ90種の植物が植栽され、その生態調査等を行いながら、来館者への植物解説も行っている。屋内には900㎡の楕円形の大空間に広がる本物の遺構等が見られる地下展示室と遺跡の調査成果を謎解き形式により楽しめる1階展示室を常設する。

令和7年度は、企画展として「仙台の遺跡めぐり 仙台むかしのモノづくり」「博物館からつながる 遺跡と人と自然」のほか、特別企画展「大地の思い出“そこ”にある森のあと」を開催し、計53,377人の来館者があった。普及啓発活動では、「地底の森フェスタ」「たのしい地底の森教室」などを開催し、演劇という手段で旧石器時代の特徴を示す「ミュージアム・シアター“狩人登場！”」や「石器をつかってみようコーナー」といった体験活動などを実施した。また、企画展関連講座や考古学講座、富沢ゼミなどの講演会を開催したほか、小学校の授業に協力して学習成果を館内で展示する作品展や、地域連携の一環として施設を利用した体験学習や講話など学習機会を提供している。さらに、考古学や文化財に関する市民の生涯学習活動支援や大学などの外部機関との連携として、ボランティア・学生サポーター・市民文化財研究員の養成を続けている。

(3) 縄文の森広場

縄文の森広場は、宅地造成に伴う山田上ノ台遺跡の発掘調査で発見された縄文時代中期末を主とする竪穴住居跡などの遺構の保存活用を図る体験型学習施設として、富沢遺跡保存館の分館として平成18年7月15日に開館した。野外には、竪穴住居を中心に復元した縄文ムラゾーンとイベントや発掘体験等を行う広場ゾーンがある。その北側の一角に付設しているガイダンス施設のエントランスホールでは、施設概要と当館の完成に至る軌跡の映像や壁面パネル展示が見られ、ガイダンス展示室では出土資料や模型、パネル・映像などにより縄文時代の生活の様子が学べる。

コーナー展示として、令和7年度は「東北の縄文遺跡」を年間テーマとして「東北の縄文遺跡―福島県本宮市・高木遺跡―」、「東北の縄文遺跡―仙台市沼津遺跡―」、「東北の縄文遺跡―宮城県南三陸町・大久保貝塚―」、「東北の縄文遺跡―仙台市太白区・下ノ内遺跡―」を開催した。

普及啓発事業としては、縄文時代を題材とした親子で楽しめる様々な学習、体験活動、発掘調査体験などを実施したほか、縄文まつり（春まつり、秋まつり）、縄文の森講座（オンライン併用）といった行事

を開催し、計16,875人の来場者があった。随時体験学習は昨年度に引き続き事前予約制で実施し、小・中学校には利用学習や職場体験などで学習機会を提供している。ボランティア活動は、引き続き館活動の準備作業の補助を行ったほか、育成講座や自主研修などを通してスキルアップを図った。

8. 史跡の整備

(1) 史跡仙台城跡

将来的な大手門復元に向け、「仙台城大手門復元基本構想」を策定した。また、東丸（三の丸）土塁の園路整備及び巽櫓跡の周辺整備に向けた設計を実施した。各種調査は、大手門復元関連基礎調査として大手門跡発掘調査（第3次）及び巽門登城路発掘調査（第6次）を実施した。仙台城跡調査・整備委員会を4回（8月29日、10月23日、1月16日、3月17日）開催した。委員会では、大手門復元基本構想や発掘調査の報告、整備の設計等についての審議を行った。

(2) 史跡仙台郡山官衙遺跡群、史跡陸奥国分寺・国分尼寺跡

令和7年度に実施した整備工事はない。調査指導委員会を3回実施した（7月31日、10月24日、1月20日）。委員会では、令和7年度中に実施した陸奥国分寺跡調査及び郡山遺跡調査の報告と、「史跡仙台郡山官衙遺跡群整備基本計画」案について、委員の方々から指導・助言をいただいた。

9. 史跡の公有化

(1) 史跡仙台郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡

史跡仙台郡山官衙遺跡群は実測値1,834.57㎡（公簿値は、1,580.00㎡。）について基金からの引取を行い公有化した。指定地内の公有化を要する範囲のうち、32,947.219㎡が公有化された。

(2) 史跡陸奥国分寺跡

史跡陸奥国分寺跡は、令和7年度について買上は実施していない。これまで指定地内の公有化を要する範囲のうち、66,967.705㎡が公有化された。

Ⅱ. 文化財の普及啓発

1. 説明板・標柱の設置

令和7年度は文化財説明板の修繕を2件（郡山遺跡・鹿野の古墳）実施した。

2. 文化財パンフレット等の発行

・「文化財せんだい」 第141号, 第142号	各1,500部
・文化財パンフレット 第85集「土偶からはじまる祈りの文化財」	2,100部
・文化財パンフレット 第86集「歩いて見つける！郡山遺跡」	3,500部
・文化財普及啓発用映像「文化財この1年 2025」（動画クリップ）	5本

3. 文化財サポーター養成講座

文化財の普及啓発のために様々な活動のできる人材を育成する「文化財サポーター養成講座」を全5回実施し、16名が参加した。平成20年度から始めた本講座は、今年度で18期目となる。平成22年に、本講座の受講生を中心に設立された仙台・文化財サポーター会の会員には、文化財展における体験プログラムや市民センターまつりなどのイベントで運営補助として協力をいただいた。

実施日	講座内容	講師
7月26日（土）	開講式・「講座」「遺物整理作業体験」	文化財課職員
9月6日（土）	「郡山遺跡」「縄文の森広場」「地底の森ミュージアム」の見学	文化財課職員 各館職員
9月20日（土）	「陸奥国分寺跡ガイド」	文化財課職員 陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会
10月11日（土）	「ぶらりまちあるき」	宮城学院女子大学非常勤講師 木村浩二氏
12月6日（土）	「陸奥国分寺跡ガイド体験」・閉講式	文化財課職員 陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会

4. 文化財公開の日「絵や古地図でめぐる榴岡の文化財」

地域の歴史と文化財に対する市民の理解を深め、文化財愛護精神の普及啓発を図るため、平成9年から毎年実施している。

令和7年度は、「絵や古地図でめぐる榴岡の文化財」と題して、11月3日（月・祝）に開催し、32名の参加を得た。江戸時代の榴岡のようすを描いた「躑躅ヶ岡花見図屏風」が県指定文化財に登録されることや、旧歩兵第四連隊兵舎（仙台市歴史民俗資料館）が県指定文化財に指定されたことを受け、榴岡天満宮や石碑、旧歩兵第四連隊兵舎等を巡りながら、絵図や古地図を用いて榴岡の歴史や文化財について解説を行った。歌枕の地として知られ、松尾芭蕉ゆかりの地でもある宮城野の歴史的な魅力に触れる機会となり、好評を得た。



榴岡天満宮見学の様子



旧歩兵第四連隊兵舎
(仙台市歴史民俗資料館) 見学の様子

5. 『第38回民俗芸能のつどい』

- 開催期日 令和8年2月14日（土）
- 会場 日立システムズホール仙台シアターホール
- 来場者数 のべ560人
- 出演団体
 - ・榊流青麻神楽（仙台市宮城野区）
 - ・秋保の田植踊（馬場）（仙台市太白区）
 - ・行山流湧水鹿踊（岩手県遠野市）
 - ・湧水神楽（岩手県遠野市）
- 記録保存のため、全出演団体の演目を撮影



会場のようす

6. 伝統文化フェア

(1) 伝統文化親子教室事業（地域展開型）

- ①『夏のせんだい技フェスー伝統の技を体感せよー』
- ②『冬のせんだい技フェスー杜の都に舞う，伝統文化ー』

- 開催期日 ①令和7年8月23日（土）
- ②令和8年1月31日（土）

○会場 仙臺緑彩館

○来場者数 約530人（①約500人②約30人）

○内容 伝統工芸体験（柳生和紙・こけし絵付け体験等）、華道体験、神楽体験等



藍染トートバッグ作り体験

(2) 「第15周年 城下町せんだい日本伝統文化フェア」

せんだい伝統文化フェア実行委員会との共催により、令和8年1月17日にせんだいメディアテーク1階オープンスクエアにて開催し、こどもたちが学び、身に付けてきた成果をステージ等で披露した。

7. 文化財等の展示

(1) 文化財展

◆ 第81回文化財展「最新の調査報告2025」

仙台市の文化財について、令和6年度事業の成果を中心に、発掘調査で出土した遺物や文化財資料、解説パネルを展示した。

- 実施日時 令和7年6月17日（火）～7月21日（月）
- 会 場 東北電力グリーンプラザ とうほく文化情報コーナー
- 報道機関 1社

◆ 第82回文化財展「いのっぺ仙台—土偶から始まる祈りの文化財—」

「祈り」をテーマに、土偶や埴輪をはじめとした祈りに関連する文化財について、発掘調査で出土した遺物や解説パネルを展示した。また、特別講演や体験プログラム、VR体験を実施した。

- 実施日時 令和7年11月5日（水）～9日（日）
- 会 場 せんだいメディアテーク オープンスクエア
- 報道機関 1社

(2) ふるさとギャラリー等での展示

旧泉市並びに旧秋保町の文化財を紹介することを目的に、旧泉市民俗資料館及び旧秋保町資料館が所蔵していた民俗資料・歴史資料・考古資料等を中心に、展示・公開している。

8. 遺跡訪問・職場体験など

発掘調査現場や展示室等の見学訪問を受け入れたほか、「仙台自分づくり教育（仙台版キャリア教育）」の一環として発掘・整理作業を実際に行う職場体験等を実施した。

(1) 遺跡・展示室訪問

No.	対応日	内 容	依 頼 元	人数
1	6月13日	陸奥国分寺跡	東北芸術工科大学	14
2	6月20日	郡山中学校ピロティ	団体	29
3	7月30日	郡山中学校ピロティ	東長町小学校PTA	2
4	8月20日	郡山中学校ピロティ	ウォーキングクラブ	30
5	9月16日	郡山中学校ピロティ	慶應義塾大学文学部	9
6	10月17日	郡山中学校ピロティ	仙台・文化財サポーター会	10
7	10月29日	郡山中学校ピロティ	個人	1
8	11月18日	郡山遺跡	郡山中学校	200

(2) 職場体験

No.	対応日	依頼元	人数
1	7月1日～2日	人來田中学校旗立分教室	6
2	10月22日～24日	仙台青陵中等教育学校・上杉山中学校	9
3	10月23日	仙台青陵中等教育学校・上杉山中学校	6
4	11月5日～7日	田子中学校・錦ヶ丘中学校	18
5	11月6日	南小泉中学校・錦ヶ丘中学校	4
6	11月12日～14日	中野中学校	9
7	11月13日	中野中学校・台原中学校・八木山中学校・富沢中学校・中山中学校	10
8	11月18日～20日	宮城野中学校・幸町中学校	18
9	11月20日	宮城野中学校・幸町中学校・五橋中学校・広瀬中学校・柳生中学校・向陽台中学校	10
10	11月26日～28日	岩切中学校	18
11	12月3日～5日	高砂中学校	9

(3) 市民センターまつり等との共催事業

- ・八本松市民センターまつり 展示・体験コーナーの設置
- ・若林区民ふるさとまつり 展示コーナーの設置
- ・郡山コミセンまつり 展示コーナーの設置

9. 遺跡見学会・記者発表

2回の遺跡見学会を実施し、278名が来場した。また、第81・82回文化財展では、それぞれ報道機関1社への情報提供を行った。

- ・11月15日（土）国史跡仙台城跡大手門跡及び周辺発掘調査（第3次）遺跡見学会
- ・12月3日（土）国史跡仙台郡山遺跡発掘調査（第341次）遺跡見学会

10. 文化財デジタル活用事業

市内に所在する指定・登録文化財の情報を「仙台市の指定・登録文化財」として、また、市内に所在する遺跡の情報を「仙台市の遺跡」として、仙台市ホームページ上で公開している。

このほか、文化財課からのお知らせや文化財の新規指定・登録、イベント情報、発掘成果、各種刊行物の案内などの公開も行っている。

11. 文化財関係図書の頒布

資料名（※市政情報センター，若林区情報センター，太白区情報センター頒布分）	税込価格
・ 仙台市文化財調査報告書第106集「仙台市文化財分布調査報告書Ⅴ」（昭和62年3月）	¥1,200
・ 仙台市文化財調査報告書第259集「仙台北城跡1」（平成14年3月）	¥1,000
・ 仙台市文化財調査報告書第270集「仙台北城跡3」（平成16年3月）	¥1,680
・ 仙台市文化財調査報告書第271集「仙台北城跡4」（平成16年3月）	¥2,670
・ 仙台市文化財調査報告書第275集「仙台北城本丸跡1次調査 第4分冊（石垣図版編）」（平成16年3月）	¥3,000
・ 仙台市文化財調査報告書第282集「仙台北城本丸跡1次調査 第3分冊（出土遺物編）」（平成17年3月）	¥4,800
・ 仙台市文化財調査報告書第283集「郡山遺跡発掘調査報告書 総括編（1）（2）セット」（平成17年3月）	¥5,800
・ 仙台市文化財調査報告書第285集「仙台北城跡5」（平成17年3月）	¥1,680
・ 仙台市文化財調査報告書第297集「仙台北城跡6」（平成18年3月）	¥500
・ 仙台市文化財調査報告書第298集「仙台北城本丸跡1次調査 第2分冊（遺構編）」（平成18年3月）	¥2,200
・ 仙台市文化財調査報告書第299集 「仙台北城跡地震災害石垣復旧事業及び史跡整備事業報告書 中門跡・清水門跡」（平成18年3月）	¥1,300
・ 仙台市文化財調査報告書第304集「天賞酒造に係る文化財調査報告書」（平成18年11月）	¥1,400
・ 仙台市文化財調査報告書第305集「大崎八幡宮の松焚祭と裸参り調査報告書」（平成19年6月）	¥1,000
・ 仙台市文化財調査報告書第309集「仙台北城跡7」（平成19年3月）	¥890
・ 仙台市文化財調査報告書第330集「仙台北城跡8」（平成20年3月）	¥1,030
・ 仙台市文化財調査報告書第348集「仙台北城跡9」（平成21年3月）	¥1,140
・ 仙台市文化財調査報告書第349集「仙台北城本丸跡1次調査 第1分冊（本文編）」（平成21年3月）	¥1,000
・ 仙台市文化財調査報告書第374集「仙台北城跡10」（平成22年3月）	¥1,300
・ 仙台市文化財調査報告書第395集「仙台北城跡11」（平成23年3月）	¥1,000
・ 仙台市文化財調査報告書第461集「仙台北城跡12」（平成29年3月）	¥1,600
・ 仙台市文化財調査報告書第471集「仙台北城跡13」（平成30年3月）	¥1,900
・ 仙台市文化財調査報告書第479集「仙台北城跡14」（平成31年3月）	¥1,900
・ 仙台市文化財調査報告書第485集「仙台北城跡15」（令和2年3月）	¥3,000
・ 仙台市文化財調査報告書第493集「仙台北城跡16」（令和3年3月）	¥3,100
・ 仙台市文化財調査報告書第500集「仙台北城跡17」（令和4年3月）	¥3,300
・ 仙台市文化財調査報告書第431集「『秋保の田植踊』の歴史と現在」（平成26年3月）	¥6,000
・ 「仙台市泉区文化財分布地図」（平成5年3月）	¥8,000
・ 「仙台市青葉区文化財分布地図」（平成6年3月）	¥9,000
・ 「仙台市太白区文化財分布地図」（平成7年3月）	¥9,000
・ 「仙台市宮城野・若林区文化財分布地図」（平成8年3月）	¥5,500
・ 「仙台市の文化財」（平成8年3月）	¥2,500
・ 仙台市文化財パンフレット第43集「仙台北城本丸跡の発掘（改訂版）」（平成12年12月）	¥400
・ 仙台市文化財パンフレット第45集「仙台北城下絵図の魅力」（平成13年2月）	¥500
・ 仙台市文化財パンフレット第35集「辻標（改訂2版）」（令和3年3月）	¥500
・ 仙台市文化財パンフレット第55集「仙台の遺跡」（平成17年3月）	¥550
・ 「デジタルミュージアム「仙台北城」DVD版 ※市政情報センターのみの頒布	¥1,000

12. 講座・講演会への派遣

(1) 出前授業

合計130回の出前授業を行った。参加した児童の延べ人数は10,384人であった。

No.	派遣日	内容	依頼元	人数	No.	派遣日	内容	依頼元	人数
1	4月14日	昔の道具	仙台市児童相談所	24	23	6月10日	歴史学習の オリエンテーション	長命ヶ丘中学校	60
2	4月28日	伊達政宗や仙台城・ すずめおどり	南中山小学校	36	24	6月11日	会津と仙台の関係 城について	高森東小学校	48
3	4月30日	仙台と会津若松の歴史 会津の城や町について	川平小学校	78	25	6月11日	歴史のオリエンテーション	折立小学校	49
4	5月7日	仙台城VRを活用した授業 (仙台城・伊達政宗について)	台原小学校	94	26	6月12日	仙台城ガイド	通町小学校	66
5	5月9日	会津若松への修学旅行の 事前学習	折立小学校	49	27	6月13日	縄文・弥生土器を使った 歴史の学習	榴岡小学校	146
6	5月13日	仙台の歴史 伊達政宗について	東北インター ナショナルスクール	19	28	6月16日	縄文時代のくらし・ 道具	館小学校	44
7	5月14日	南光台の歴史	南光台小学校	119	29	6月17日	縄文・弥生時代	南材木町小学校	60
8	5月20日	仙台城ガイド	東北インター ナショナルスクール	17	30	6月19日	修学旅行（会津） 事前学習	長町南小学校	118
9	5月21日	向陽台の歴史	向陽台小学校	120	31	6月20日	歴史オリエンテーション	南光台小学校	118
10	5月27日	すずめ踊りの歴史	片平丁小学校	87	32	6月20日	赤石分校の歴史 (赤石分校の見学)	生出小学校	49
11	5月28日	仙台の歴史 伊達政宗・仙台城	西山小学校	56	33	6月24日	縄文土器・弥生土器を 使った授業	向陽台小学校	97
12	5月29日	修学旅行事前学習	住吉台小学校	53	34	6月26日	郡山遺跡と昔の 長町ようすについて	八本松小学校	62
13	5月30日	修学旅行事前学習 (仙台城と鶴ヶ城)	八木山小学校	98	35	7月1日	縄文・弥生時代の導入	富沢中学校	352
14	6月2日	歴史のオリエンテーション	北仙台小学校	102	36	7月3日	縄文・弥生	幸町中学校	126
15	6月2日	修学旅行事前学習 (会津・仙台の歴史)	福岡小学校	7	37	7月4日	縄文・弥生・古墳時代 (土器を使った授業)	仙台二華中学校	104
16	6月3日	地域の歴史	南材木町小学校	40	38	7月4日	長命ヶ丘地域の魅力 を発信しよう	長命ヶ丘中学校	55
17	6月3日	修学旅行事前学習	南材木町小学校	60	39	7月8日	江戸時代の文化や 社会の様子	第一中学校	185
18	6月4日	歴史オリエンテーション (縄文・弥生)	中山小学校	88	40	7月11日	地域の歴史（古城地 域・若林城について）	古城小学校	58
19	6月5日	地域の歴史 (郡山遺跡について)	東長町小学校	170	41	7月14日	郡山遺跡について (植栽活動に向けて)	東長町小学校	145
20	6月6日	修学旅行事前学習	郡山小学校	52	42	7月14日	古墳の授業	第一中学校	210
21	6月9日	古墳の学習	西山中学校	60	43	7月15日	縄文・弥生	鶴が丘小学校	44
22	6月10日	縄文・弥生土器を 使った授業	鶴谷東小学校	27	44	7月16日	地域の歴史・体験学習	六郷中学校	30

II. 文化財の普及啓発

No.	派遣日	内容	依頼元	人数
45	7月17日	縄文・弥生土器を使った授業	栗生小学校	74
46	7月17日	大沢の田植踊について	向陽台小学校	124
47	7月18日	縄文土器について (縄文土器づくり)	遠見塚小学校	79
48	8月27日	平安時代の導入	館小学校	44
49	9月2日	古城と若林城 伊達政宗(地域の歴史)	古城小学校	60
50	9月4日	「武士の世の中」の導入	館小学校	44
51	9月9日	遠見塚古墳について	遠見塚小学校	80
52	9月29日	残したいもの 伝えたいもの	川前小学校	86
53	9月30日	戦国時代 (伊達政宗と仙台)	館小学校	44
54	10月2日	秋保収蔵庫見学	湯元小学校	13
55	10月6日	残したいもの 伝えたいもの	黒松小学校	88
56	10月7日	職業講話	蒲町中学校	180
57	10月20日	残したいもの 伝えたいもの	燕沢小学校	76
58	10月20日	湯元の田植踊について (歴史・口上・衣装など)	湯元小学校	12
59	10月21日	災害と文化財	燕沢小学校	64
60	10月21日	残したいもの 伝えたいもの	長町小学校	104
61	10月24日	修学旅行(会津) 事前学習	栗生小学校	74
62	10月27日	残したいもの 伝えたいもの	四郎丸小学校	107
63	10月28日	戦国の世から 天下統一へ	榴岡小学校	145
64	10月30日	修学旅行(会津) 事前学習	将監西小学校	35
65	11月5日	江戸時代の仙台	館小学校	44
66	11月11日	残したいもの 伝えたいもの	荒井小学校	83
67	11月11日	残したいもの 伝えたいもの	東六番丁小学校	66
68	11月12日	文化財課の仕事, 遺跡や遺物について	第二中学校 東北大学病院分校	10
69	11月12日	残したいもの 伝えたいもの	南中山小学校	36

No.	派遣日	内容	依頼元	人数
70	11月17日	残したいもの 伝えたいもの	住吉台小学校	68
71	11月18日	地域の歴史	若林小学校	51
72	11月21日	昔の道具 (+市のうつりかわり)	東長町小学校	170
73	11月21日	仙台城について	向山小学校	54
74	11月26日	自然愛護(カモシカ)	八乙女中学校	140
75	11月27日	地域の歴史	若林小学校	51
76	11月28日	伊達政宗と仙台城 (仙台城VR)	沖野小学校	74
77	12月2日	残したいもの 伝えたいもの	芦口小学校	34
78	12月4日	仙台城ガイド	向山小学校	54
79	12月9日	残したいもの 伝えたいもの	沖野東小学校	66
80	12月10日	地域の歴史	国見小学校	100
81	12月10日	職業講話	南吉成小学校	91
82	12月11日	昔の道具	館小学校	40
83	12月11日	秋保収蔵庫見学 (昔の道具)	秋保小学校 馬場小学校	14
84	12月12日	市のうつりかわり (昔の道具)	住吉台小学校	66
85	12月15日	仙台城・伊達政宗など	仙台市児童相談 所	24
86	12月16日	こけしづくり	鶴谷小学校	88
87	12月17日	地域の歴史	国見小学校	100
88	12月18日	職業講話	沖野小学校	74
89	12月19日	地域の歴史 (残したいもの伝えたいもの)	福室小学校	96
90	12月23日	明治の国づくりを 進めた人々	鶴が丘小学校	45
91	1月13日	市のうつりかわり	川前小学校	61
92	1月14日	市のうつりかわり	高砂小学校	59
93	1月14日	市のうつりかわり	東二番丁小学校	28
94	1月15日	地域の歴史・昔の道具	郡山小学校	51

No.	派遣日	内容	依頼元	人数
95	1月16日	市のうつりかわり	ホライゾン学園	31
96	1月16日	市のうつりかわり	南材木町小学校	38
97	1月19日	市のうつりかわり	松森小学校	45
98	1月20日	昔の道具	愛子小学校	102
99	1月21日	市のうつりかわり (昔の道具)	通町小学校	65
100	1月22日	昔の道具	生出小学校	15
101	1月26日	昔の道具	鶴が丘小学校	32
102	1月27日	昔の道具	大沢小学校	67
103	1月28日	昔の道具	長町小学校	105
104	1月28日	伊達政宗のまちづくり (仙台の歴史)	仙台高等学校	171
105	1月29日	市のうつりかわり	連坊小路小学校	71
106	1月30日	市のうつりかわり (昔の道具)	中山小学校	88
107	1月30日	市のうつりかわり	大和小学校	91
108	2月2日	市のうつりかわり	南光台小学校	120
109	2月2日	昔の道具	向山小学校	46
110	2月3日	市のうつりかわり	鹿野小学校	70
111	2月4日	市のうつりかわり	宮城野小学校	72
112	2月5日	職業講話	向山小学校	54

No.	派遣日	内容	依頼元	人数
113	2月6日	昔の道具	北中山小学校	69
114	2月10日	昔の道具 (市のうつりかわり)	沖野小学校	69
115	2月12日	昔の道具	片平丁小学校	88
116	2月16日	昔の道具	大野田小学校	105
117	2月18日	市のうつりかわり	長町小学校	104
118	2月20日	昔の道具	富沢小学校	179
119	2月20日	市のうつりかわり	茂庭台小学校	27
120	2月24日	秋保地区の縄文土器	秋保中学校	22
121	2月24日	市のうつりかわり	太白小学校	26
122	2月25日	昔の道具	東二番丁小学校	28
123	2月26日	昔の道具	国見小学校	101
124	2月26日	市のうつりかわり (昔の道具)	荒巻小学校	67
125	2月27日	昔の道具	北六番丁小学校	48
126	3月2日	昔の道具	宮城野小学校	72
127	3月3日	昔の道具	南光台小学校	120
128	3月4日	昔の道具	寺岡小学校	81
129	3月5日	昔の道具	川平小学校	60
130	3月6日	昔の道具	鶴谷小学校	88



出前授業の様子



遺物を活用した出前授業

II. 文化財の普及啓発

(2) 出前講座等

合計41回の出前講座を行った。受講者数は延べ2,275人であった。

No.	派遣日	内容	依頼元	人数	No.	派遣日	内容	依頼元	人数
1	4月26日	地域社会の歴史および「法領塚古墳」の意義	聖ウルスラ学院英智小-中学校高等学校	300	22	9月17日	「政宗晩年の城～若林城～」	仙台市西多賀市民センター	70
2	5月17日	薬師堂 発掘最新情報	連坊オモシロ街あるき会	20	23	9月30日	政宗晩年の城～若林城～	沖野老人福祉センター	15
3	5月17日	史跡仙台北城跡石垣の被災メカニズムと復旧工法	宮城県考古学会	90	24	10月17日	伊達政宗と仙台北城下町の成り立ち	シルバーセンターいきがい推進課	108
4	5月19日	天平の祈り 陸奥国分寺の歴史	サービス付高齢者住宅ベルハート西公園	20	25	10月28日	「発掘調査が解き明かす仙台北城の姿」	歴史博物館 青葉城資料展示館	80
5	5月24日	「川崎町・上蔵歴史文化フォーラム」仙台北藩の境目番所	川崎町教育委員会	200	26	11月3日	陸奥国分寺跡の概要	仙台市若林図書館	20
6	5月30日	陸奥国分寺について	シルバーセンターいきがい推進課	32	27	11月18日	仙台・青葉山文化観光交流ビジョンおよび仙台北城大手門復元計画の概要	仙台商工会議所	40
7	6月10日	歴史散策「地域の伝統を伝える～民俗芸能や建物などの魅力～」	ツクイ仙台北中田	40	28	11月28日	仙台・青葉山文化観光交流ビジョンおよび仙台北城大手門復元計画の概要	仙台商工会議所	30
8	6月12日	東照宮について 現地見学・案内	まちなか歩きたい	12	29	11月29日	講座「熊ヶ根歴史探訪」※現地見学含む	仙台市宮城西市民センター	20
9	6月14日	「仙台市の埋蔵文化財について」	宮城県宮城第一高等学校同窓会	60	30	12月2日	仙台北城大手門復元計画中間案についての勉強会	みやぎ歴史的建造物等保存活用ネットワーク	13
10	7月9日	南小泉老壮大学「法領塚古墳とその集落について」	仙台市若林区中央市民センター	80	31	12月10日	仙台北城跡大手門復元に関する講話	仙台市七郷市民センター	90
11	7月10日	長町遺跡・人類誕生のおはなし	まちなか歩きたい	12	32	12月11日	08年4月 現地視察を踏まえて、岩切城他 座学	まちなか歩きたい	11
12	7月11日	政宗晩年の城～若林城～	沖野市民センター(老壮大学)	60	33	12月13日	山口・下ノ内浦、南小泉【口頭発表】富沢、高江、仙台北城【紙上発表】	宮城県考古学会	90
13	7月11日	天平の祈り 陸奥国分寺の歴史	シニアのための市民ネットワーク仙台	20	34	12月15日	復元に向けた「仙台北城大手門跡」と「郡山遺跡」の発掘調査報告	寺岡1・2丁目町内会	25
14	7月12日	講話「郡山遺跡発掘調査の概要と近年の調査」	仙台市八本松市民センター	25	35	12月17日	東仙台北地区の歴史	東部市民センター	40
15	7月16日	人間と音楽	宮城教育大学	15	36	1月31日・2月1日	「燕沢遺跡・陸奥国分寺・台原小田原窯跡群」	奈良文化財研究所	150
16	7月17日	芋沢地区の埋蔵文化財について	仙台市大沢市民センター	40	37	2月5日	調査からわかる 政宗の城～仙台北城～	諏訪長生クラブ	35
17	8月8日	発掘調査からわかったふさと仙台の歴史	学童保育ぐらんりんく	35	38	2月6日・2月7日	仙台市の無形民俗文化財の保護と活用と推進・支援/民俗芸能伝承・保存	民俗芸能を伝承するふくしまの会	115
18	8月20日	歴史散策「地域の伝統を伝える～民俗芸能や建物などの魅力～」	旭ヶ丘地区社会福祉協議会	20	39	2月19日	郷土の歴史講習会	仙台明治青年大学郷土史を学ぶ会	90
19	8月20日	「仙台北城跡の災害復旧」	総生会25歴史史跡めぐりの会	22	40	2月26日	講話「八本松や長町の歴史、発掘最新情報など」	仙台市八本松市民センター	60
20	9月5日	「郡山遺跡を知る～発掘調査でわかったこと」	仙台市郡山老人福祉センター	15	41	3月17日	学校のニーズに沿った教育プログラム作りのポイントについて	公益財団法人宮城県観光連盟	43
21	9月11日	仙台北二ノ丸城座学研修を踏まえた現地見学	まちなか歩きたい	12					

13. 共催・後援事業等

教育・学術・文化の普及及び向上のため、第72回日本伝統工芸展仙台展等を共催したほか、文化財に係る催事等を名義後援した。

Ⅲ. 埋蔵文化財の調査

1. 調査一覧

国庫補助事業としては、郡山遺跡（3件）、富沢遺跡（1件）、南小泉遺跡（4件）、鴻ノ巣遺跡（1件）、今泉遺跡（2件）、北目城跡（1件）、小鶴城跡（1件）の個人専用住宅等13件の調査を実施した。なお、国庫補助事業以外の個人専用住宅等の調査を川添東遺跡（1件）、南小泉遺跡（2件）で3件実施した。

受託事業としては、南小泉遺跡、富沢遺跡、郡山遺跡ほかで計27件の調査を実施した。市関連事業としては、富沢遺跡（1件）、長楯城跡（2件）、鴻ノ巣遺跡（1件）、仙台城跡（1件）、桜ヶ岡公園遺跡跡（1件）、貞山堀（1件）で7件の調査を実施した。

その他に、郡山遺跡、陸奥国分寺跡及び仙台城跡の範囲確認調査を4件実施した。また山口遺跡・下ノ内浦遺跡、郡山遺跡、仙台城跡、山田上ノ台遺跡などの整理作業を行い、報告書作成・刊行に関して5件実施した。

●令和7年度 埋蔵文化財調査事業一覧

NO.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な遺構	調査担当	届出等NO.
1	川添東遺跡	太白区茂庭字川添東	個人住宅	4月9日～10日	27.00	遺構・遺物なし	須貝, 柴田, 五十嵐, 平山	R6 116-349
2	南小泉遺跡	若林区遠見塚1丁目	個人住宅	4月17日～18日	12.00	ピット・土師器・須恵器	橋本, 高橋	R6 116-373
3	南小泉遺跡	若林区遠見塚1丁目	個人住宅	4月22日～24日	15.87	溝跡・土師器	須貝, 柴田, 五十嵐, 平山	R6 116-383
4	高江遺跡	宮城野区岩切字今市東	倉庫	4月24日～3月13日	6000.00	屋敷跡・水田跡・陶磁器・弥生土器	早川, 長島	R6 113-141
5	郡山遺跡第338次	太白区郡山2丁目	個人住宅	5月7日～8日	12.00	遺構・遺物なし	山口, 工藤(信)	R6 116-366
6	郡山遺跡第339次	太白区郡山2丁目	個人住宅	5月7日～8日	12.00	遺構・遺物なし	山口, 工藤(信)	R6 116-368
7	富沢遺跡	太白区長町7丁目	個人住宅	5月14日～16日	26.00	疑似畦畔・遺物なし	柴田, 五十嵐	R6 116-378
8	陸奥国分寺跡第35次	若林区木ノ下3丁目	範囲確認	5月15日～8月6日	300.00	掘立柱建物跡・竪穴住居跡・土師器・須恵器・瓦	山口, 工藤(信)	—
9	南小泉遺跡	若林区遠見塚1丁目	個人住宅	5月20日～29日	42.00	溝跡・土師器	須貝, 平山, 五十嵐	R7 104-36
10	山口遺跡第21次・下ノ内浦遺跡第8次	太白区富沢1丁目	共同住宅	5月27日～10月24日	460.00	土坑・溝跡・配石遺構・土師器・須恵器・縄文土器・石器	庄子, 長島	R6 113-40
11	南小泉遺跡	若林区遠見塚1丁目	建売住宅	5月29日	12.00	溝跡?・土師器・須恵器	五十嵐, 柴田, 須貝, 平山	R7 104-23
12	郡山遺跡	太白区郡山5丁目	擁壁設置	6月23日	13.00	遺構・遺物なし	五十嵐, 柴田, 須貝, 平山	R7 104-28
13	南小泉遺跡	若林区南小泉2丁目	個人住宅	6月5日～10日	24.00	溝跡・ピット・土師器	須貝, 平山	R7 104-36
14	新田北町遺跡	宮城野区新田2丁目	共同住宅	5月20日～21日	12.00	遺構・遺物なし	橋本, 高橋	R7 110-13
15	蛇台原A遺跡ほか	青葉区上愛子字樋田外	区画整理	6月9日～7月30日	537.00	遺構なし・土師器・須恵器	橋本, 高橋	R6 113-27
16	砂押Ⅱ遺跡	若林区沖野3丁目	建売住宅	6月12日	9.00	小溝状遺構・遺物なし	須貝, 平山, 五十嵐	R7 104-50
17	中田南遺跡	太白区中田7丁目	事務所	6月24日～25日	16.50	堀跡・礎石	須貝, 平山, 柴田, 五十嵐	R7 104-64
18	仙台城跡第48次	青葉区川内	範囲確認	7月1日～12月3日	87.00	石組側溝・瓦・陶磁器	木村, 工藤(哲)	—
19	南小泉遺跡	若林区南小泉4丁目	共同住宅	7月15日～8月13日	93.72	溝跡・竪穴遺構など・土師器・須恵器	五十嵐, 柴田, 須貝	R6 116-387

Ⅲ. 埋蔵文化財の調査

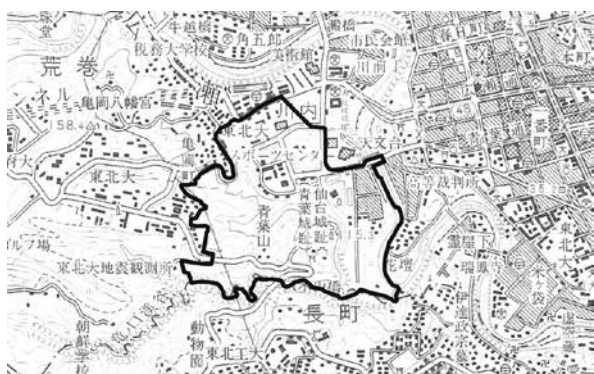
NO.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な遺構	調査担当	届出等NO.
20	南小泉遺跡	若林区古城3丁目	個人住宅	7月2日～4日	15.00	堀跡	須貝, 平山, 五十嵐	R7 104-46
21	沼田遺跡及び隣接地	青葉区郷六字沼田	宅地造成	7月28日	46.00	遺構・遺物なし	須貝, 平山	R7 104-89
22	泉崎浦遺跡	太白区泉崎1丁目	共同住宅	9月5日～ 11月28日	132.80	溝跡・水田耕作土	橋本, 高橋	R7 104-68
23	大年寺山横穴墓	太白区向山4丁目	擁壁設置	8月25日	-	遺構・遺物なし	須貝, 小岩	R6 118-74
24	養種園遺跡	若林区南小泉1丁目	建売住宅	9月9日	6.66	遺構・遺物なし	及川, 小岩	R7 104-134
25	富沢遺跡第165次	太白区長町南3丁目	区役所改修	9月4日～ 10月17日	49.00	水田畦畔	須貝, 平山	R6 118-67
26	洞ノ口遺跡	宮城野区岩切字洞ノ口	共同住宅	8月20日～29日	24.00	溝跡・陶器・土師器・ 須恵器	柴田, 五十嵐, 須貝, 平山	R7 104-100
27	南小泉遺跡	若林区南小泉4丁目	共同住宅	9月10日～24日	24.00	ピット・土師器	五十嵐, 柴田	R7 104-118
28	郡山遺跡第341次	太白区郡山3丁目	範囲確認	9月29日～ 2月10日	230.00	南門跡・掘立柱建物跡・ 土師器・須恵器・瓦	山口, 工藤(信)	—
29	仙台北城跡第49次	青葉区川内	範囲確認	10月2日～ 12月11日	72.30	土塁・石敷遺構・瓦・ 陶磁器	木村, 工藤(哲)	—
30	田母神屋敷跡	宮城野区蒲生字鍋沼	宅地造成	10月6日	10.00	遺構・遺物なし	及川, 小岩	R7 104-113
31	上野遺跡	太白区富田字上野東	宅地造成	10月14日	17.23	遺構・遺物なし	及川, 柴田	R7 104-153
32	富沢遺跡第166次	太白区長町南3丁目	共同住宅	10月14日～ 12月15日	81.00	水田耕作土	五十嵐, 小岩	R7 104-9
33	長楯城跡	太白区秋保町長袋字館	道路防災工事	10月20日	-	遺構・遺物なし	須貝, 平山	R7 114-46
34	郡山遺跡342次	太白区郡山5丁目	給排水設置工事	10月29日	17.00	溝跡・陶器・古代瓦	及川, 須貝	R7 104-222
35	的場遺跡	太白区郡山7丁目	宅地造成	11月11日～13日	50.00	土師器	吉田, 平山	R7 104-189
36	鴻ノ巣遺跡	宮城野区岩切字三所南	個人住宅	11月26日	12.00	井戸跡・溝跡	及川, 吉田	R7 104-230
37	鴻ノ巣遺跡	宮城野区岩切字鴻巣	埋設管	11月26日	4.9	遺構・遺物なし	及川	R7 114-45
38	今泉遺跡	若林区今泉2丁目	個人住宅	12月1日～2日	15.00	堀跡	吉田, 平山	R7 104-187
39	洞ノ口遺跡	宮城野区岩切字青津目	共同住宅	12月15日～18日	41.40	土師器	橋本, 高橋	R7 104-224
40	南小泉遺跡	若林区遠見塚2丁目	共同住宅	12月15日～17日	42.00	溝跡・土師器	吉田, 平山	R7 104-181
41	南小泉遺跡	若林区南小泉2丁目	建売住宅	12月9日	8.00	遺構・遺物なし	柴田, 長島	R7 104-213
42	長楯城跡	太白区秋保町長袋字館	道路改良	12月9日	535.48	遺構・遺物なし	吉田, 平山	R7 114-47
43	仙台北城跡	青葉区川内	道路拡幅	1月19日～ 2月6日	25.44	遺構なし・瓦, 花崗岩など	五十嵐, 平山	R6 119-42
44	桜ヶ岡公園遺跡	青葉区桜ヶ丘公園	遊び場整備	1月19日～ 2月26日	204.22	土坑、陶磁器	橋本, 高橋	R7 108-76
45	貞山堀	若林区荒浜字一番山	樋門撤去	12月17日	138.45	遺構・遺物なし	及川	R7 114-63
46	郡山遺跡	太白区郡山2丁目	個人住宅	1月13～16日	12.00	遺構なし・弥生土器	山口, 工藤(信)	R7 104-220
47	南小泉遺跡	若林区南小泉4丁目	建売住宅	1月13日～20日	22.00	溝・土坑・土師器・ 陶器	小岩, 長島	R7 104-229
48	今泉遺跡	若林区今泉2丁目	個人住宅	1月19日～20日	15.00	遺構・遺物なし	及川, 相澤, 吉田	R7 104-253
49	北目城跡	太白区東郡山2丁目	個人住宅	2月9日～10日	12.00	遺構・遺物なし	小岩, 長島	R7 104-259
50	南小泉遺跡	遠見塚2丁目	個人住宅	2月24日	12.00	遺構・遺物なし	五十嵐, 平山	R7 104-283
51	富沢遺跡及び山口遺跡	太白区泉崎1丁目	共同住宅	2月24日	60.00	水田耕作土・遺物なし	及川, 吉田, 飯田	R7 110-104
52	小鶴城跡	宮城野区新田3丁目	個人住宅	3月4日	21.00	遺構・遺物なし	須貝, 小岩, 飯田	R7 104-277
53	泉崎浦遺跡	太白区泉崎1丁目	共同住宅	3月25日～27日	64.00		五十嵐, 平山	R7 104-325
54	富沢館跡	太白区富沢西1丁目	共同住宅	3月25日～27日	108.00		須貝, 小岩	R7 104-219

※53・54は令和8年度も継続して発掘調査を実施する。

(1) 仙台北城跡 第48次調査（大手門跡及び周辺発掘調査（第3次））

- | | | | |
|--------|----------------|--------|---------------|
| 1 調査地 | 仙台市青葉区川内地内 | 4 調査原因 | 国庫補助による遺構確認調査 |
| 2 調査期間 | 令和7年7月1日～12月3日 | 5 調査員 | 木村恒, 工藤哲司 |
| 3 調査面積 | 87.0㎡ | | |

仙台北城大手門は江戸時代を通して仙台北城の正門として機能した門であり、昭和20年の仙台空襲で焼失した。第48次調査では、大手門脇槽に伴う雨落ち溝（石組側溝）が検出され、建物の位置を推定する上で重要な成果が得られた。さらに、大手門の周辺状況の確認のため、大手門の西側で実施した調査では、幅約15m、深さ2m以上の南北方向の大規模な水路跡（堀跡）が検出された。江戸時代の絵図では脇槽南西に、中島池とそこから北へ延びる水路が描かれており、「水落堀」と記載されている資料も残されている。今回検出された水路跡は、大手門との位置関係や規模から見て、絵図上の「水落堀」と同一のものであると考えられる。



仙台北城跡



水路跡（堀跡）検出状況（南東から）

(2) 郡山遺跡 第341次調査

- | | | | |
|--------|-------------------------|--------|---------------|
| 1 調査地 | 仙台市太白区郡山5丁目 | 3 調査面積 | 約230㎡ |
| 2 調査期間 | 令和7年9月29日
～令和8年2月10日 | 4 調査原因 | 国庫補助による遺構確認調査 |
| | | 5 調査員 | 山口沙織, 工藤信一郎 |

郡山遺跡は飛鳥～奈良時代の官衙（役所）跡で、多賀城創建以前の陸奥国を統治する役割を担っていたと考えられる。第341次調査では、官衙の出入口の役割を果たしていた南門が検出され、南門の規模や構造を推定する上で重要な成果が得られた。調査では9基の柱跡が確認されたことから、Ⅱ期官衙の南門は八脚門以上の構造であることが明らかとなった。一部の柱穴では当時の門に使用されていた柱材がそのまま残っており、直径約50cmの丸太の柱が確認された。



郡山遺跡

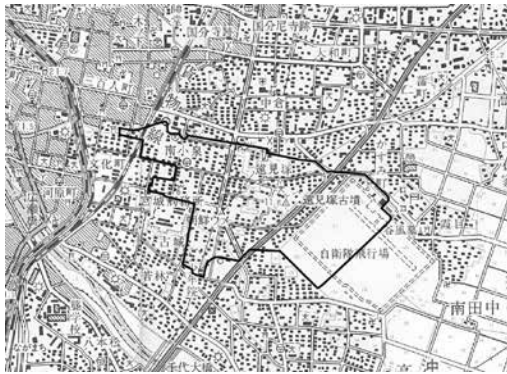


南門跡 調査区全景（南から）

(3) 南小泉遺跡 第108次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 仙台市若林区古城3丁目 | 4 調査原因 | 建売住宅新築工事他 |
| 2 調査期間 | 令和7年2月19日～3月7日 | 5 調査員 | 小野洋平, 須貝慎吾, 工藤信一郎 |
| 3 調査面積 | 計74.0㎡ | | |

南小泉遺跡は広瀬川と名取川の合流地点より北へ約3kmの場所にあり、「宮城野海岸平野」と呼ばれる沖積平野の自然堤防上に立地する縄文時代から近世にかけての複合遺跡である。特に弥生・古墳時代の集落跡として知られ、東北地方南部の古墳時代中期の土師器「南小泉式」の標式遺跡である。第108次調査では、古墳時代の竪穴住居跡2軒と古墳時代中期の土器埋設遺構が1基と古代の竪穴住居跡1軒が確認されている。特に古墳時代の土器埋設遺構は完形の土器が多く出土した。貴重な一括資料として、南小泉式期と引田式期の土器と共伴した大蓮寺窯跡に類例がみられる須恵器（表紙写真参照）も見つかっている。



南小泉遺跡



土器埋設遺構検出状況（北から）

(4) 富沢遺跡 第165次調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|-------------|
| 1 調査地 | 仙台市太白区長町南3丁目 | 4 調査原因 | 太白区役所南玄関改修工 |
| 2 調査期間 | 令和7年9月4日～10月17日 | 5 調査員 | 平山瑞樹, 須貝慎吾 |
| 3 調査面積 | 計63.0㎡ | | |

富沢遺跡は、仙台市南東部の太白区富沢、長町南、泉崎、鹿野等に広がっており、水田跡を中心とする大規模な複合遺跡である。第165次調査は遺跡の北東部で行い、盛土下に現代を除き5面の水田跡を確認した。時代は古代以降2面、平安時代1面、弥生時代2面が見つかり、古代はいずれも真北方向を基準とした条理水田が想定される方形の区画の畦畔一部が見つかった。弥生時代は、真北から約40°～60°の方向を基準とした大畦畔の一部が見つかった。また、縄文草創期及び旧石器層の下層調査も実施し明確な痕跡は見つからなかったが、下部地層のテフラ分析により新規の火山灰が発見された。



富沢遺跡

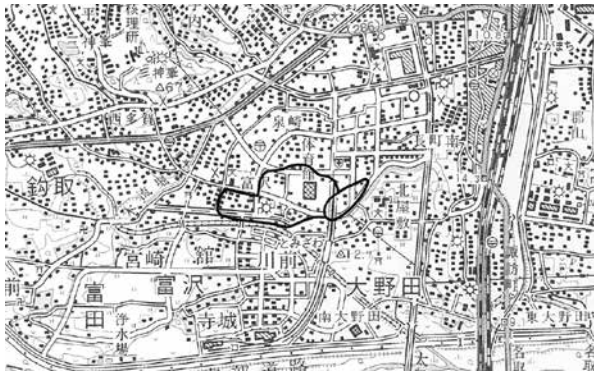


弥生時代大畦畔検出状況（上空から）

(5) 山口遺跡第21次・下ノ内浦遺跡第8次調査

- | | | | |
|--------|--------------------|--------|---------------------|
| 1 調査地 | 仙台市太白区富沢1丁目 | 4 調査原因 | 共同住宅建設 |
| 2 調査期間 | 令和7年5月27日～10月24日 | 5 調査員 | 庄子裕美, 長島栄一, (株)三協技術 |
| 3 調査面積 | 約460m ² | | |

山口遺跡と下ノ内浦遺跡は、仙台市南部、地下鉄南北線富沢駅東側の標高10～14mの自然堤防及び後背湿地上に立地している。今回の調査では、平安時代の河川跡と、縄文時代後期の配石遺構5基と土坑63基、ピット73基を確認した。配石遺構は礫が弧状に配列された状態で見つかり、配石に使用された礫の中には石皿や凹石などの礫石器があり、再利用されたと考えられる。遺物は縄文土器や石器、土偶、土製耳飾りなどが出土している。これまでの調査で見つかった遺構及び遺物の特徴から、本調査地点周辺は縄文時代後期の時期は墓域と祭祀の場であったと考えられる。



山口遺跡・下ノ内浦遺跡



縄文時代配石遺構（北から）

(6) 高江遺跡 第3次調査

- | | | | |
|--------|----------------------------|--------|-------------------|
| 1 調査地 | 仙台市宮城野区岩切字今市東 | 3 調査面積 | 6000㎡ |
| 2 調査期間 | 令和7年4月24日
～令和9年3月5日（予定） | 4 調査原因 | 物流倉庫建築 |
| | | 5 調査員 | 早川太陽，長島栄一，（株）三協技術 |

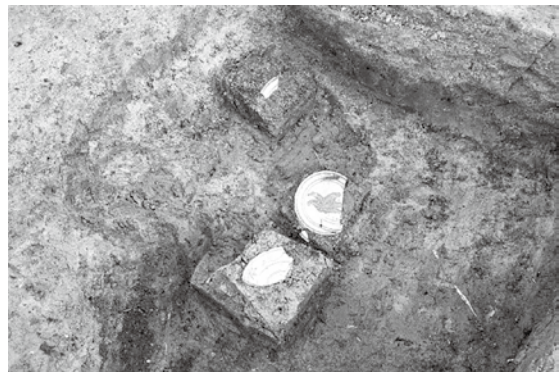
高江遺跡は、北側を流れる七北田川が形成した自然堤防及び後背湿地上に所在し、JR東北本線岩切駅から南西に約2kmの地点に立地する。特に弥生時代の水田跡として知られ、これまでの第1次・2次調査では広大な弥生時代中期の水田跡とともに、大量の弥生土器や石器が出土した。

第3次調査では、この水田域の広がりを確認することが目的であったが、戦国時代～江戸時代初期までの短期間に存続したと思われる屋敷跡に伴う溝跡や掘立柱建物跡が確認された。溝跡は全て方角を意識して作られており、内部の区画溝として機能したとみられる。掘立柱建物跡は東西に長い建物で、掘方が1辺20～30cm程度の方形の支柱穴と、径10cm程度の小ピットで構成される。小ピットは支柱穴と異なり、比較的規則性なく配置されており、床を支える束柱と推測される。これらの溝や掘方埋土からは、志野や織部の皿・向付といった陶磁器類や漆器椀、櫛などの遺物が出土したことから、格の高い人物の屋敷あるいは御飯屋に類する施設であったと思われる。

また、大きく削平されているが、古墳時代前期の標識土器である塩竈式の土師器が出土する遺構群や、方形周溝墓とみられる遺構が確認されているため、高江遺跡は弥生時代のみではなく、非常に大規模な複合遺跡であることが分かった。



高江遺跡



陶器 皿（志野）出土状況

IV. 文化財の調査

1. 事業概要

- (1) 名 称 堤焼の生産用具と製品及び関連資料民俗文化財調査
- (2) 事業期間 令和5年度～令和7年度（3か年）
- (3) 調査方法 市直営（文化財課職員並びにアルバイトにより実施）
- (4) 調査目的 目録作成

2. 資料概要

- (1) 所 在 仙台市青葉区堤町（個人宅）、仙台市泉区野村（仙台市野村文化財整理収蔵室）
- (2) 所 有 者 個人、仙台市教育委員会
- (3) 数 量 3,827件（個人所有931件、市教育委員会所有2,896件）
 ※内訳
 生産用具329件、製品1,360件（半製品含む）、関連資料2,117件（うち台帳等1,630件）、
 その他21件
- (4) 年 代 明治後期～平成中期

3. 収集の経緯

堤町の北端に位置する佐藤家は3つの窯と工場、店舗、住居を構え、堤焼の製造・販売（小売り及び仲卸）をしていた窯元である。佐藤家は明治初期に堤町に移住し、大正7年（1918）に窯を開いた4代目当主佐藤大助氏の名から佐大窯と称して、屋号を「佐大」とする。佐大窯では昭和56年（1981）に自家での生産は終了したが、六連房式煉瓦造りの登り窯と^{こうば}工場の建屋は維持され、町内外から仕入れた製品の販売を続けていた。

平成中期に販売をやめたのちも6代目当主夫妻が旧店舗を「佐大ギャラリー」と名付けて自家の製品や近在の家から収集した堤焼の製品を展示し、登り窯とともに展示・公開していた。登り窯は平成23年（2011）の東日本大震災により一部が倒壊したが、地元有志の支援を受けて再建され、平成29年（2017）に「佐大商店登り窯」として仙台市の杜の都の風土を育む景観条例（都市整備局都市景観課所管）に基づく「杜の都景観重要建造物等」の指定を受けている。

しかし令和2年（2020）に登り窯、旧工場、旧店舗を取り壊す計画が持ち上がったことから、その中に残されている堤焼の生産用具や製品の保存について同家より市に相談があった。市では現地調査を踏まえ、貴重な資料の散逸を防止するため令和5年（2023）度より悉皆調査に着手し、一部資料は市に寄贈を受けた。

4. 調査の必要性

堤焼は旧仙台北端の堤町を含めた丘陵地帯周辺の土と石を材料に焼成され、宮城県内を中心に東北地方に広く流通した地域的特色ある実用陶器である。

生産の中心地であった堤町は奥州街道に面した旧仙台北端の足軽町で、台原丘陵東端の杉山台の一角にあたる。なお古代の杉山台は、国府多賀城や陸奥国分寺などに瓦を供給した窯業地として知られる。

現代につながる焼物としての始まりは、仙台藩4代藩主伊達綱村が元禄年間（1688～1704）に江戸の陶工、上村万右衛門を招いて焼かせた「杉山焼」にあるとされる。5代藩主吉村の時代の藩の公式記録『伊達治家記録』には「仙台焼」と記されている。ただし、江戸の窯業・陶工と仙台藩の窯業との具体的な関係性を示す史料は発見されていない。

同地の焼物、のちに堤焼と呼ばれる焼物は近場の自然資源を活用した足軽衆の副業として生産されたと考えられている。近接する青葉区北根で発見された仙台藩士新妻家の近世墓地からは素焼の大甕が出土しており、これは堤町を含めた近郊の生産地より18世紀後半から19世紀はじめに調達された可能性が指摘されている。ただし、堤焼の特徴とされる海鼠釉の甕や鉢の生産が始まったのは、考古学的な調査では古くても幕末から明治初期以降であると推測されている。

領国内の産品として伊達家御用として保護育成されたともいわれるが、藩による国産品の流通統制下には置かれておらず、近世の堤焼生産の実態ははっきりとしない。しかし市内の近世遺跡からは堤焼のすり鉢や甕といった調理具や貯蔵具、土人形（堤人形）等が出土しており、瀬戸・美濃、肥前、大堀相馬など領外から流入する飲食器等とは競合しない製品を意図的に選択し生産、販売していたと考えられている。

生産は幕末から大正期にかけて最盛期となり、明治中期に「堤焼」の名が定着した。磁器生産には着手せず、国内特に東北地方の需要に応える陶器として生産を拡大する。

大正期以前における堤町では針生家が最も経営規模が大きく、徒弟制度を設けて陶工を育成する堤焼の生産と販売の中心であったという。町内には陶工だけでなく、材料となる粘土や出来上がった製品の運搬を担う馬車屋、運搬用の荒縄を縛う職人、出荷品を藁で梱包する職人がいた。粘土の採掘には周辺の農家を日雇いで頼むこともあった。職人は町内だけでなく、町外の子供が弟子入りする場合や渡りの職人を受け入れる場合もあった。針生家の家勢の傾きと前後して大正6年（1917）に土器製造業組合が発足したが、こうした生産組合は結成と解散を繰り返し、昭和45年（1970）頃には完全に解散している。

販売先（卸先）は仙台市内の陶器店に限らず、鉄道網を活用して宮城県内各地はもとより、岩手県、青森県へと広がっていることが佐大窯の出荷台帳から判明している。佐大窯では戦前には窯元自ら大八車を引き、関山峠を越えて山形へ行商に出ることもあったという。

昭和18年（1943）には宮城県知事の命を受け、食糧増産を目的に乾田化のための暗渠排水用土管の生産に力を入れ、その需要衰退と入れ替わるように昭和40年代には明神堂の生産がピークとなった。またすり鉢、片口、甕、火消壺、スカシといった日用品の生産も小規模ながら続けられ、同じ土を材料とした堤人形や達磨の生産も窯元やその分家による副業として行われた。

昭和11年（1936）には市による産業振興として仙台市窯業研究所が開設され、常滑や会津本郷の職人が指導にあたったが、技法の違いから堤町の職人には歓迎されず昭和25年（1950）に閉鎖された。

戦後は需要の縮小に加え、仙台の市街地拡大に伴う公害問題等により堤町での窯業継続は困難となり、昭和50年代に松根家が火を落としたのを最後に町内での生産が絶えている。

さて当該資料群を有していた佐藤家は堤町の北の端に位置し、陶器と土管の両方を生産する本焼屋（瀬戸屋）として大正7年（1918）に開窯し、昭和56年（1981）まで焼物生産を続けた堤焼の窯元である。登り窯や旧工場、旧店舗内には、大正から昭和にかけての堤焼の土管のほか、大小さまざまな甕、鉢、すり鉢、片口などの貯蔵具・調理具、火消壺や火袋などの生活用品、屋敷神を祀る小祠（明神堂）や縁起物のエビス大黒など、市井の需要の変化に応じて生産された、多種多様な堤焼製品が収集・保管されていた。また、生産する際に用いていた道具類、包装紙や注文葉書など同家における生産、販売に関するもののほか、粘土確保のための共同作業や生産体制を示す書付、領収書等も多数残されていた。堤焼の製品、特に海鼠釉のかかった甕類などは市内の博物館・資料館に収蔵されているものの、こうした生産から流通までを一体的に知りう

る資料群の存在は貴重である。

以上を踏まえ、当該資料群は仙台の一窯元における埴焼の生産・販売の有り様を伝え、小規模な窯業地の製品でありながら市内にとどまらず東北地方各地へと流通した実用陶器の実態を明らかにするものとして重要である可能性が高いことから、市による文化財調査と、散逸を防ぐ措置としての一部資料の収集が必要と判断された。

5. 調査の方法

(1) 資料の収集

当該資料群は引き続き佐藤家が所蔵するものと、市に寄贈されたものの2グループに分かれ、便宜上前者をA群、後者をB群とした。B群の収集は文化財課職員の手により令和5年度に4日間、令和6年度に2日間行われた。

収集時点では資料群の価値が明確ではなかったことから資料の積極的な選別は避け、所有者が引き続き所蔵する意思を示したものと、破損が激しく修復・活用が難しいものを除いて、基本的には全て受け入れる方針とした。所有者が寄贈の意思を示した資料はエアークッションを用いて簡易梱包を施し、公用車に積載・運搬した。最終的には、登り窯内に残されていた甕・鉢類の製品・半製品や土管型、登り窯のアーチを作る木型、旧工場内に保管されていた釉薬などの生産用具、旧店舗に保管されていた製品、文書類等が市に寄贈された。

(2) 旧店舗及び旧工場^{こうば}の平面図の作成

資料の収集と前後して、登り窯、旧工場、旧店舗の現地確認と所有者への聞き書きを行った。

登り窯は昭和後期以降火を入れておらず、平成23年（2011）の東日本大震災で末の間、五の間、四の間に崩壊した。翌年に所有者と有志の手により木型（現在は市所蔵）を用いて修復し、三の間と一の間は入り口を塞ぎ、他の間に半製品等が積み入れられていた。なお、入り口の封鎖はイロミの位置やサシグチの利用など窯を焚いていた当時の再現をするために施されたものであり中は空であること、それ以外の間の半製品等の積み上げは焼成の再現ではないことを所有者への聞き書きにより確認した。

旧工場は40年以上生活用品の物置として使用されていたことから、室内での作業動線とそれに伴う生産用具の配置等、生産に係る痕跡は希薄であったが、採光と通風のための窓、ろくろ台、室内乾燥のための棚や天井穴など建物自体に焼き物の工場であったことを伝える要素を確認できた。

旧店舗は製品を並べていた土間、店番等に使用した小上がりの和室、簡易の台所、便所が備わっており、小売及び卸売をするための空間であったことを伝えている。

以上を踏まえ、旧店舗及び旧工場の平面図を文化財課職員（建造物担当）が作成した。建物の特徴等については後述する。

(3) 聞き書き

所有者並びに関係者への聞き書きは、令和5年度に2回、令和6年度に2回、令和7年度に1回行われた。特に令和6・7年度の調査では、職人手製の用具を用いて生産の便を計っていたことが判明する等、生産用具の使用方法等に係る情報を収集することができた。

(4) 資料の整理と修復

資料調査は、約4,000件と目された資料群全体の内容を把握するための目録の完成を目標に、実作業は文化財課職員（民俗文化財担当）を主担当とし、東北学院大学文学部歴史学科の学部生等をアルバイトとして雇用し実施された。作業場は佐大商店の旧店舗内もしくは市の文化財整理収蔵室で実施した。

目録作成に先立ち、ブラシによる簡易クリーニングを施した。その後に付番、名づけ、採寸、破損個所の有無等の点検を行って情報を整理し、写真撮影を行った。製品・半製品については必要に応じてセメダインを用いた修復（接合）を行った。

作業は令和5年度から令和10年度までの6か年計画として着手したが、調査項目を厳選するとともに写真撮影を最小限とすることで事業期間を短縮し、令和7年度に完了した。

6. 資料群の構成

当資料群は大正7年（1918）に堤町で開窯した佐藤家が使用・生産・収集してきた堤焼の生産用具と半製品、製品及び堤人形、注文葉書や総勘定元帳等の関連資料により構成される。

半製品、製品についてはその性質上、厳密な生産年代は特定しにくく、操業していた大正8年（1919）から昭和56年（1981）の間のいずれかと推測される。また、他より仕入れた製品や後年の収集品とを区別する指標が確立できなかったことから、判明しているごく一部を除いては佐大窯製品とみなしている。

なお整理作業の便宜上、整理番号（通し番号）には個人が所有しているものはA、市教育委員会が所有しているものはB（ただし便宜上「3 関連資料－2 文書類」については頭文字はC）をつけて管理している。以下、大分類別に概要を紹介する。なお、カッコ書き内の英数字は資料番号を表し、一部を写真にて示す。

【別表1】仮分類表（令和8年9月1日版）

大分類	小分類	例	合計	A群	B群
			3,827	931	2,896
1 生産用具			329	66	263
	1 採土用具		0	0	0
	2 整土用具	フルイなど	10	0	10
	3 成形用具	ロクロ、削り金具、水糸、メカキ、型、陶印など	156	28	128
	4 乾燥用具	テンマイタ	12	2	10
	5 施釉用具	薬研、釉薬	36	1	35
	6 焼成用具	サシニワ、登り窯の成形用具	67	35	32
	7 その他	用途不明のもの	48	0	48
2 製品			1,360	618	742
	1 生活用品	甕、鉢、片口、火消壺、ホウロクなど ※半製品含む	1,049	559	490
	2 信仰用品	明神堂、カワラケ、カメコガミなど	50	20	30
	3 工業製品	土管、トキン、瓦、レンガなど	250	29	221
	4 その他		11	10	1
3 関連資料			2,117	230	1,887
	1 関連製品	堤人形、松川だるまなど ※型を含む	478	227	251
	2 文書	注文葉書、元帳、仕入帳、出勤簿、税金関係書類など	1,630	0	1630
	3 その他	包装紙など	9	3	6
4 その他			21	17	4
	1 その他	堤焼以外の陶器、花巻人形など	21	17	4

(1) 生産用具

大分類1の生産用具は生産過程の順に整土、成形、乾燥、施釉、焼成の各工程のものが残されており、329件（A群66件、B群263件）を数える。現在のところ採土用具は確認されていない。工程を念頭に資料を紹介すると、次のようになる。

整土に用いる用具にはフルイ（B-0835ほか）があり、堤町近郊（のちには芋沢、愛子）から採掘した粘土を目の粗さの異なるものにかけて粒を揃えた。これをフネに入れて水を打って柔らかくしたのち、唐鍬などの用具（B-1151）で削り取っては踏み固めることを繰り返した。

粘土が出来上がると成形に移る。土管は木型（B-0037ほか）に粘土を押し当てて成型する。ツバの部分のみを別に作る際は別の型（B-0834ほか）を用い、ソケット部分の内側にはメカキ（B-392）で目を立てた。細い小型の土管の場合は、自家製の木製の道具を用いて長さを均一にしたり（B-1158）、直角部分を成型した（B-1156,1157）。瓦は板状にした土を、型を組み合わせた蹴りロクロ（B-1146）に載せて形を整えた。大型の明神堂は屋根、ドウハラ（堂腹）、台の3パーツにより成るが、屋根とドウハラはさらに細かく分けたパーツごとに成形した（B-1148ほか）。

鉢、片口などは蹴りロクロ（B-0050）で引いて成形し、すり鉢であればメカキ（B-0390ほか）をあてて目をかき、鉢植えなどはツボキリ（B-0359ほか）で底穴を開ける。高台はケズリカナグ（B-0364ほか）で成形する。また、大きさや角度の異なるコテ（B-0368ほか）で器の内面・外面を整え、磨きをかけ、鹿革（B-0382）やヘラ（B-0383ほか）等を用いて仕上げ、水系（B-0380）でロクロから切り離し、アゲタケ（B-0395）で持ち上げて移動させた。急須や茶碗、スカシなどの小物は型を用いた（B-0942,1117,1168ほか）。鋳物用の型を作る際には金属製のもの（B-1234）を用いた。こうした道具類は、様々な製品に対応する必要性や生産性の向上のために、職人たちが大工用具や木片を転用・改良して手作りすることもあり、同じ用途の道具でも多様なサイズや素材のものが残されている。

成形を終えると乾燥させる。土管以外は工場内で陰干しをした。棚にあげておくほか、テンマイタ（B-0054）に載せて土間で乾かす。乾燥による収縮で変形した際には修正を施した。土管は直射日光で乾燥させた。

素焼きののち、施釉をして本焼きとなる。釉薬の原料となる鉱石は近場で採取したのち、薬研（B-1147）を用いて粉碎し、木炭や糠灰なども混ぜながら各窯で独自の配合をした。佐大窯では焼き損じた甕を釉薬の原料入れとして利用した（B-1221ほか）。土管等は、釉薬を入れたドラム缶を半分に切ったものを台に設置し、木材を渡したところに土管を置いて釉薬を流しかけた（B-1175,1259）。なお製品によっては素焼、あるいは施釉せずに黒くいぶした黒物の状態で完成品となるものもある。

焼成の際、甕や切立はその内側に一回り小型の製品を入れ子状にして窯に配置した。このときに釉薬で製品同士が接着するのを防ぐため、バッカ（A-0253ほか）を間に挟んだ。煉瓦と陶板で棚を組むこともあった。佐藤家の屋敷神の前の敷石は陶板を再利用したものである。焼成中に窯内の炎の色を見るためのイロミの穴や、薪を投げ込むためのサシグチの穴には、サシニワ（B-0026ほか）をはめ込んだ。

なお、佐大窯の六連式登り窯は、大正7年（1918）の開窯時に備えたものを改修しながら用いており、各室のアーチ型の屋根部分の型（B-1262ほか）が残されている。

(2) 製品・半製品

大分類2の製品は本焼き前の半製品を含めた多種多様なものが残されており、1,360件（A群618件、B群742件）を数える。

最も多いのが堤焼を代表する器種である甕や鉢、片口である。大型の甕の中には内側を白い釉薬で覆い水甕としては高価で取引されたもの（A-0002）や、酒や醤油を貯蔵するためのもの（B-0046）等がある。

すり鉢（B-0178ほか）や丸鉢（B-0145ほか）、片口（B-0148ほか）はやや作りが甘いものの、ほぼ同型・同容量のものが数多く残されており、庶民の手に入りやすい値段で大量に生産していたことを伝える。また5代当主の弥市が手掛けた花瓶（A-0339ほか）も数多い。

ほかに少量ではあるが、尿瓶（B-0185ほか）、ホウロク（B-0309ほか）、クド（B-0374ほか）、ワッカ（B-0626ほか）、火消壺（B-0566ほか）、こたつの炭入れ（A-0296ほか）、アンカ（A-0297）、骨壺（A-0647ほか）などがある。また、園芸ブームに応じて生産された蘭鉢（B-0738）などの植木鉢のほか、ワッカの生産方法を応用し、植木鉢の水抜き穴から土の流出を防ぐもの（B-1219）などもあり、土管や甕などの需要が落ち込んだあとにも、売れる製品を模索しながら柔軟に生産していた姿を思わせる。

信仰用具としては、屋敷神を祀るための小祠や奉納具がある。県下では屋敷神として稲荷明神を祀ることが多いことから、それを祀る祠はミョウジンドウ（明神堂）と呼ばれ、佐藤家にも小型のもの（A-0128ほか）と大型のもの（B-1131ほか）が残されていた。コガメ（B-0739）は泉区丸森の大甕神社に百日咳の治癒を祈願する際の奉納物である。ほかに穴の開いたカワラケ（B-1211）もあり、太白区長町の蛸薬師に耳患いの治癒を祈願する際に奉納したものと推測される。

工業製品としては、土管、トキン、瓦などがある。土管は暗渠排水用（B-0015ほか）、下水用（B-0016ほか）などが代表的である。また、この製法を応用した鉄砲風呂用の煙突（B-0076）もある。鋳型を作るために熱した鉄を流す細い土管（B-0469ほか）は、佐藤家における土管生産の終盤期を示す。トキン（B-0007ほか）は木製の電柱の上に被せて、雨水による腐食を防ぐものである。瓦は役物瓦（B-0008ほか）、鬼瓦（B-0028）、平瓦（B-0073,0342ほか）などが比較的まとまって残っている。なお、佐藤家では自宅の建て替えに際し自家で焼いた瓦を用いたと伝わる。レンガは窯の修理等に用いたほか、窯の中に陶板と組み合わせて棚を組む際にも用いた。

(3) 関連資料

大分類3の関連資料は2,117件で、その半数以上を文書類（C群）1,630件が占める。具体には、佐藤家の分家を中心となり堤焼と同様の土を用いて職人たちが冬季の副業として生産した堤人形（A-0686他）や松川ダルマ（A-0454ほか）、各種の置物類とその型がある。堤人形の中には、エビス大黒（A-0643,0646ほか）のような縁起物や、ミョウジンドウに供える狐（A-0679他）子供の健やかな成長を願う天神（A-0741ほか）など、民間信仰の一端を示すものも含まれる。

文書類は、明治30年から平成10年代にかけての佐大窯（佐大商店）の生産・販売・経営規模等が分かる。具体例として、明治30年代に佐藤大助の母・クマが「陶器総代」針生嘉春に支払った「総代給料」の領収書（C-1219ほか）や運送店に配送を頼んだ際の「貨物受取書」（C-1337）がある。

昭和前期の資料には、工業品規格（陶管）の実行に係る仙台市告示（C-1516）、昭和3年から14年ごろまでの注文葉書（C-1360ほか）、建物の増築や機械の変更に伴う宮城県警察署の検査書（C-1582ほか）、仙台陶漆器小売商業組合に所属し組合を通じて商品の配給を受けていたことを示す配給品通知書（C-1531）、宮城県陶土器工業組合を通じ宮城県より土管の検査を求められたもの（C-1534）、宮城県や岩手県の海軍敷地内にて堤焼の陶管（土管）が使用されたと推測される使用証明書（C-1536ほか）などがある。

昭和中期のものには、事業設置届（C-1572）、佐藤家が富谷にて粘土採掘をする際の契約書（C-1542）、土地の売買に係るもの（C-1567ほか）、昭和20年代に町内の窯元と共同で粘土を採掘した際の費用負担等について記録したもの（C-1166）、昭和30年代の土管の価格表（C-1194）などがある。

昭和後期から平成中期にかけての資料には、確定申告等に用いたために保管されたと推測される総勘定元帳（C-0029ほか）、売上帳（C-0030ほか）、仕入帳（C-0032ほか）、納品書（C-0002ほか）、請求書（C-0045

ほか)、領収書 (C-0018ほか)、棚卸の記録 (C-0065ほか)、納税の領収書 (C-0040ほか)、賃金台帳 (C-0015ほか) や出勤簿 (C-0039ほか) など雇用に係るものなどがある。

このほかに、昭和前中期と推測される敷地平面図 (C-1514)、名入りの商標 (B-0400) や、堤人形の職人が副業として書いたタマガミ (B-0401) など含まれている。

(4) 資料名及び分類の決定に係る経緯

資料名及び分類の決定にあたり、市に寄贈を受けた一群 (B群) をサンプルに、主な器種別の特徴等を次のように整理した。

① 甕類

甕は貯蔵を主たる目的とする容器であり、内側が白いものは貯水用の水甕、胴の下部に注ぎ口が開いたものは醤油等を店舗で量り売りするために店頭に並べた甕と推測される。しかし内容物や用途は製造元が販売時に定めるものではないため、本事業では口径 (外径) が胴の最大径より小さく肩が張った「甕」と、口径 (外径) と胴の最大径と底径にほとんど差がなく直線的なフォルムの「切立甕」に分けるにとどめた。ただし、既出の報告書に掲載された資料とその同等品については、「水甕」等、用途に依拠した名称をあてた。なお、『仙台市文化財調査報告書第375集』69ページに掲載の「火消甕」と同様のものは、肩・胴の張り方や口縁のつくりから本事業では大型の火消壺と同列に扱い次項にて紹介する。

甕類には素焼の半製品と釉薬がかかった製品の2種類があり、市では73件 (甕65件、切立窯8件) の寄贈を受けた。

造形はいずれも後付けしたと推測される高台がつく。口縁は外側から下に向かってゆるやかに反り返るか、真下に折り込むように成形されており、貼花等の装飾は施されていない。大型のものは最大径に対して底径が極端に小さく、やや安定性に欠ける。陶器製の蓋をつけて販売していた可能性もある。容量は1升5合程度から小刻みに分かれることが確認できたが、1斗以上と目される大型の甕類については未測定である。

② 火消甕・火消壺

炭火を鎮火させて種火状態にし、炭を再利用するための道具である。素焼のものと、焼成の最後に炭で黒く着色した「黒物」と呼ばれる製品に仕上げたもの、釉薬をかけたものがある。空気を遮断するための蓋が付属するが、注文葉書の記述から蓋単体での注文も受けていたことが判明しており、蓋の付属の有無ではなく、本体の形状から甕と区別している。

市では16点を所蔵しており、小型の火消壺と大型の火消甕に分けた。ここにおける壺と甕の名称の区別は口径と最大径のバランスによるものではなく、一升や二升といった小型の火消甕を大正期には「火消ツボ」と呼んで取引していたことを踏まえた、サイズによる区別に過ぎない。どちらも高台はなく、底から胴にかけて緩やかに立ち上がり、肩は張らないが、火消甕は肩に貼花がなされている。口縁は外には反り返らずに、上部を平らにならしてある。これは蓋の安定性を重視するとともに、持ち運ぶ際は口縁ではなく胴に手をかけていたことによるものと推測される。

なお、器物と対になっていない単体の蓋が複数収蔵されたが、黒物はサイズに関わらず火消壺用とし、「蓋 (火消ツボ用)」と名付けた。素焼きのものは直径が20cm程度の場合は火消壺用と推測し、直径20cmを上回る場合は、甕とも兼用できることから「フタ (ツボ・甕用)」とした。

③ 丸鉢, 片口

鉢類としては植木鉢やすり鉢が作られたが, ここでは丸みがあり容量(サイズ)が豊富な丸鉢と, 丸鉢に造形したあとに口を付け足した片口について簡単に触れる。すり鉢については後述する。

丸鉢は106点の寄贈を受けており, 容量は6合程度のものから3升程度のものまでいくつかに分かれ, 3つないし2つで一組にして重ね, 入れ子に組むこともできる。同じ容量でも1点ごとに寸法がやや異なることから, 石膏型を利用した成形ではないと想像される。大正期の佐大の出荷台帳には「大丸鉢」「中丸鉢」などと記載があり, 過去の調査でも大中小の区別があったとされる。これは寸法から3升程度, 2升程度, 1升程度の容量による別と推測されるが, 市への寄贈分(B群)の容量はこれに限られておらず, 市井の需要に応じて様々なサイズで生産されていたことが分かる。

片口は主に液体の移し替えに用いる容器である。市では107件の寄贈を受けた。丸鉢の状態に成形したものの口縁の一部を丸く切り抜き, 口を貼り付けた後から口縁を均してある。容量は1.5合, 3合, 7合程度の3種類である。素焼きのものは造形の痕跡がはっきりと確認できる。

④ すり鉢

見込みに施した凹凸に, 木製のスリコギで魚や豆類などを押し当てるように摺り込み, 粉碎したり粘りを出したりする道具である。考古遺物の出土品としても注目される器種であり, 仙台城跡でも出土例があることから近世以降の在地の焼物の生産・流通をひも解く上で, 当該資料群のすり鉢の形状は注目される。

市では27点の寄贈を受けた。素焼きと釉薬がかかったものに分かれ, 釉薬は底裏までかけてある。

底から口縁にかけて朝顔形に大きく開き, 側面から見ると直線的なフォルムを成す。口縁の一部を柔らかく押し開いた簡易な片口がつく。2点を除いて高台はなく, 底部の角をあらかじめ落としてある。口縁は太く, 内側はやや見込み側に入り, 外側は肩につく。口縁の外側部分の真下には一条ないし二条, 粘土紐を後付けしてある(B-0750を除く)。比較的小型のものは二条, 大型のものは一条の傾向があるが, 使いわけの理由は判然としない。

亀裂の位置やメカキをあてた順序などの生産の痕跡から, 製作方法は次のとおりと推測する。

- ① 円形の底部を作る。
- ② 円形の粘土板の側面に粘土板を巡らせるようにして側面(胴)をつける。大きく高さが必要な場合は側面を継ぎ足す。
- ③ メカキで目を立てたら, 口縁から数センチ下の目はなで消す。
- ④ 口縁の一部を内側から押し広げ, 片口部分を成型する。
- ⑤ 釉薬をかけたあと, バッカを用いて重ねて焼成する。

大きさは口径(外径)20cm程度のものから35cm程度まで様々だが, 中型のものを中心にサイズの差が小さく, これが需要に合わせて作り分ける作陶技術により生まれたものなのか, 意図せずに生まれたものなのかは検討を要する。また, 比較的大型のものは最後に目をあてた先の延長線上の口縁部を内側から外側に押し広げて片口部分をつくり, 内容物の排出をスムーズにする配慮を感じられるが, 比較的小型のものはメカキをあてたことで盛り上がった土の処理などが甘く, 全体に粗い印象を受ける。

7. 旧店舗及び旧工場の建造物について

佐藤家の敷地は、南北に通る奥州街道の西側に位置し、奥行きの深い短冊状を呈する。街道に接する東側から、敷地背面の西側に向かって上がる傾斜地となっている。

敷地内には、北側境に、街道側から旧店舗、旧工場、登り窯を並べ、最奥に現在の主屋を置く。南側境には、旧藁小屋、物置を配置する。

旧店舗は、街道に接して東面する南北棟の建物である。木造2階建て、切妻造棧瓦葺、平入であり、桁行5間半、梁間4間半の規模である。1階は、東側を土間とし、背面に当たる西側に8畳間、台所、小上がりを並べる。外回りは、東面南側をガラス引き戸の出入口とし、南面・西面に通用口を開く。2階は、東側は1階からの吹き抜けとなり、西側を物置とする。聞き取りにより、昭和58年（1983）頃の建築である。

旧工場は、旧店舗の背面側（西側）に、少し離して、また、角度をつけて立つ、東西棟の建物である。一体の建物として称されているが、構造的には、北側と南側の2棟の建物からなる。ともに、外壁仕上げは下見板張りあるいはトタン張りである。

北側の棟は、木造2階建て、切妻造棧瓦葺、平入であり、桁行9間半、梁間3間の規模である。1階は、東側7間を全面土間とし、北側中央寄りに棚を備え付けるとともに、南側中央寄りにはろくろ台が残されている。南面全面を窓や引き戸等の開口とし、そのほか3面はコンクリートブロック壁とする。北面にも小さい窓を開くが、現在は板戸が打ち付けられている。西側2間半余りは屋外の吹き放しとし、さらに西側に続く登り窯の焚口前の空間に当てている。室内に間柱を立てず、1間ごとに2階床張りとして鉄骨トラスを入れることで構造を補強している。2階は、3室に分かれ、東側2室が板敷、西側1室が15畳大の畳敷きで、北側に半間幅の板敷を持つ。東側2室の間仕切りは、階段まわりのベニヤ壁と同様、近年の改修であり、以前は広い1室であった。北面及び南面のほぼ全面を窓や引き戸の開口部とし、天井を張らず、小屋組み（キングポストトラス）を見せる。東面及び西面は土壁である。なお、東端室の床板の一部は可動式となっており、1階への荷下ろし等に使われたという。

南側の棟は、鉄骨造2階建て、片流れ造波板トタン葺、平入であり、桁行9間、梁間2間の規模である。1階は、東側7間を間仕切りのない土間の一室とし、中央部に炉跡が残る。西側2間は屋外の吹き放しである。2階は、1階の屋内外境で2室に分かれ、いずれも板敷で天井を張らない。1・2階ともほぼ全面を窓や引き戸の開口部とし、北側の棟と接する面には建具も持たない。また、南東隅に近年の改修による間仕切り空間を持つ。この棟に階段はないため、北側棟の2階から出入りする。なお、床板の一部は可動式となっており、1階への荷下ろし等へ使われたことが想定される。また、2階の開口部は基本的にガラス窓だが、西面北側1間、南面中央寄り1か所で床面までの開口を取っており、興味深い。

北側の棟は、青焼き設計図の記載内容により、昭和35年（1960）頃の建築であり、南側の棟はそれ以降、昭和56年（1981）の生産終了までの増築と考えられる。

8. 小括

堤焼は仙台を中心に宮城県内、東北各地に広く展開した実用陶器であり、幕末から大正期にかけて最盛期を迎え、素焼きの鉢、楽焼のホウロク、本焼の甕類など、庶民の需要に応じた多様な日用雑器が生産された。明治末から昭和初期にかけては暗渠排水用の土管、昭和中期には屋敷神を祀る小祠の生産も盛んとなり、市井の暮らしを支える身近な焼物であった。

当資料群に含まれる製品は、佐大窯の開窯以来、生産・販売された品目とはほぼ一致し、堤焼全般の盛衰と

IV. 文化財の調査

同家のなりわいを物語っている。また、同家が町内の他の窯元と共同で材料の確保を図っていたことや、他地域の窯元と交流があったこと、鉄道網を活用して宮城県内はもとより青森県や岩手県、山形県の一部にも製品を卸していたことなども、文書類から明らかである。

以上を踏まえ、当資料群は東北地方の小規模な後発窯業地である堤町において、近現代まで東北・仙台の庶民の需要に応じて生産された堤焼の主要な製品を現代に伝えとともに、生産・販売の過程を一体的に示すコレクションであり、市内外へと流通した堤焼の歴史と、一窯元における生産・販売の有り様を通じ、庶民の生活の移り変わりを示すものとして重要であると考えられる。

しかしながら当調査事業では調査体制の制約によりその成果は目録作成に留まっており、生産過程と作業空間に関する聞き書き、用具類と製品の生産痕跡の突合作業や考古遺物との比較といった物質的調査、佐藤家に残る出荷台帳類と当該資料群に残された注文はがきを組み合わせた史料調査は今後の課題である。

主な参考文献

- 佐藤洋 2001,「仙台市内出土の陶磁器集成－近世－」, 仙台市博物館編『仙台市博物館調査報告 第22号』, p.1-16,仙台市博物館
- 2004,「陶磁器の流通と消費」, 仙台市史編さん室編『仙台市史 通史編5 近世3』, p.552-575,仙台市
- 関善内 1974,『堤焼と陶工たち』, 萬葉堂書店
- 仙台市教育委員会編
- 2010,『仙台市文化財調査報告書第375集 仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書②堤焼』, 仙台市教育員会
- 仙台市歴史民俗資料館編
- 1985,『仙台市歴史民俗資料館調査報告書第6集 堤町周辺の民俗』, 仙台市歴史民俗資料館
- 1996,『企画展図録 せんだい諸職づくし』, 仙台市歴史民俗資料館
- 2019,『堤焼と堤人形』, 仙台市歴史民俗資料館
- 東北歴史資料館編
- 1990,『東北歴史資料館資料集27 宮城県の諸職』, 東北歴史博物館
- 1995,『仙台・堤のやきもの』, 東北歴史博物館
- 中富洋 1997,「堤焼窯元「佐大窯」の変容(1)－大正8～10年度の製品出荷状況－」, 仙台市歴史民俗資料館編『調査報告書第16集 足元からみる民俗(6)』, 仙台市歴史民俗資料館



旧佐大商店外観（手前は奥州街道）



旧工場外観



旧工場と登り窯（外観）



旧工場内に残されたろくろ台



搬出前の二の間内部



搬出前の末の間内部



職員による搬出作業



アルバイトによる整理作業

IV. 文化財の調査



聞き書き調査



アルバイトによる整理作業



製土用具（フルイ（B-0835））



製土用具（ヘラ（B-039））



成形用具（ケズリ（B-036））



成形用具（タタキ（B-0371））



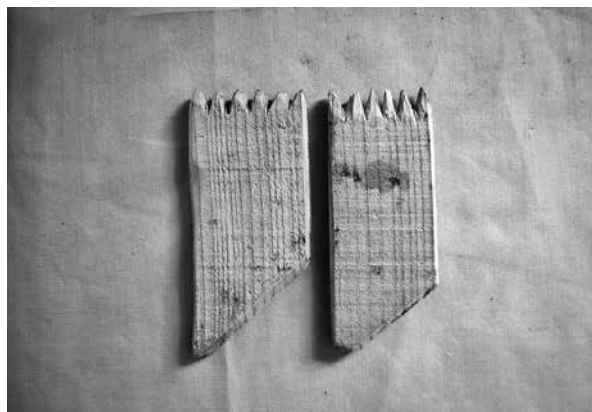
成形用具（小祠の屋根型（B-0845））



成形用具（スカシの型（B-1170））



成形用具（曲り土管用（B-1156）



成形用具（メカキ（B-0392）



成形用具（土管型（B-0839）



乾燥用具（テンマイタ（B-0055）



施釉用具（台（施釉用）（B-1175）



焼成用具（バッカ（A-280）



焼成用具（サシニワ（B-0033）



焼成用具（登り窯型（B-1266）

IV. 文化財の調査



生活用品（甕、切立甕、甕（蓋付））



生活用品（火消壺、火消甕）



生活用品（丸鉢）



生活用品（すり鉢）



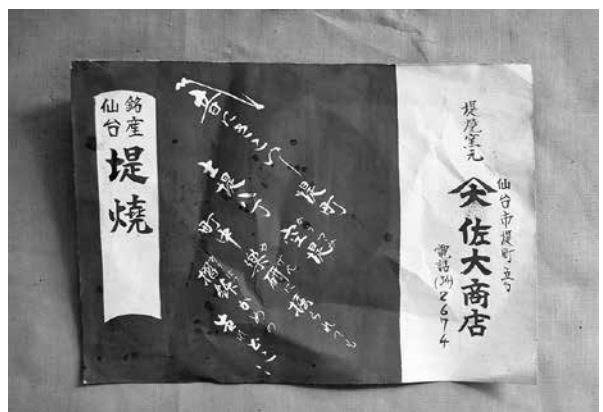
信仰用品（ドウハラ（B-1140））



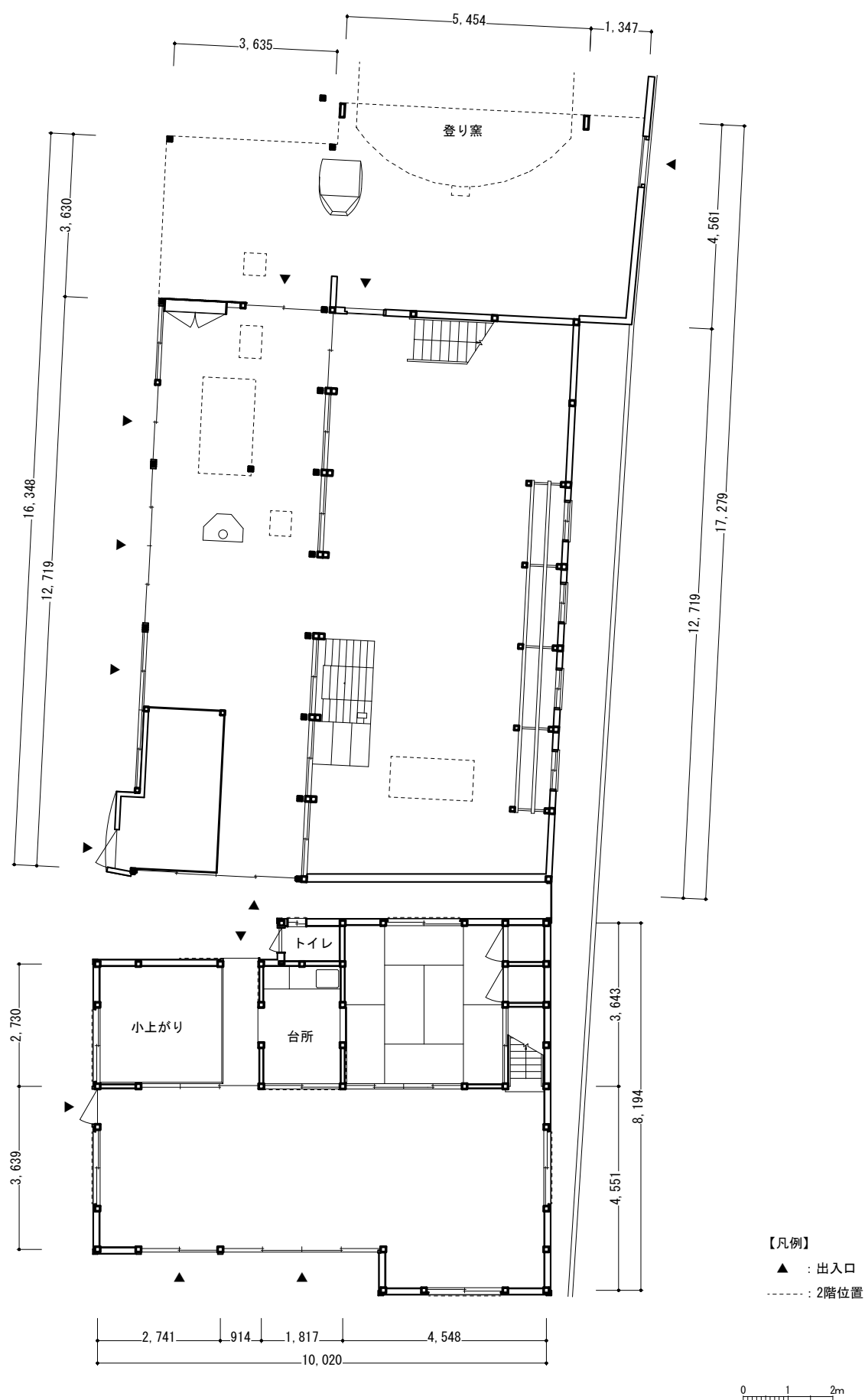
工業用品（土管（暗渠排水用（B-0015））



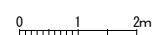
関連資料（陶器総代給料領収書（C-1219））



関連資料（包装紙（B-0040））



佐藤家 旧店舗・旧工場 1 階平面図



佐藤家 旧店舗・旧工場2階平面図

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

(1) 国指定文化財

令和8年4月1日現在

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
有形文化財／建造物					
1	国宝 大崎八幡宮本殿・石の間・拝殿 附 棟札1枚	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	M36.4.15
2	大崎八幡宮長床	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	S41.6.11
3	陸奥国分寺薬師堂 附 厨子1基・棟札1枚	1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	M36.4.15
4	東照宮本殿・唐門・透塀・鳥居・隨身門 附 厨子1基・棟札1枚・石灯籠34基	5棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S28.3.31
5	東北学院旧宣教師館	1棟	青葉区土樋一丁目6	学校法人東北学院	H28.7.25
有形文化財／彫刻					
6	木造釈迦如来立像	1軀	青葉区八幡四丁目8-32	龍宝寺	M36.4.15
有形文化財／工芸品					
7	太刀	1口	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡宮	T3.4.17
8	小紋染胴服	1領	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S53.6.15
9	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付（伊達政宗所用） 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S54.6.6
10	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾1頭・頭巾1頭・団扇3握・軍扇2握	1領	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S54.6.6
11	帯（三沢初子所用） 附 総鹿子裂2枚入日記（正徳2年4月）1通	12条	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H3.6.21
有形文化財／書跡					
12	国宝 類聚国史 卷第二十五	1巻	青葉区川内1-1	東北大学	S27.11.22
13	国宝 史記（孝文本紀 第十）	1巻	青葉区川内1-1	東北大学	S27.11.22
14	塵芥集	1冊	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H15.5.29
有形文化財／古文書					
15	伊達家文書（1046通）	26巻, 21冊, 20幅, 953通, 1鋪, 2綴, 2枚	青葉区川内26	仙台市（博物館）	R2.9.30
16	伊達家印章 附 印譜（44通）	127顆	青葉区川内26	仙台市（博物館）	R2.9.30
有形文化財／考古資料					
17	埴輪甲 埴輪家残闕 埴輪円筒	2箇 1箇 1箇	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	S34.6.27
18	陸前沼津貝塚出土品	一括	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	S38.7.1
有形文化財／歴史資料					
19	国宝 慶長遣欧使節関係資料	一括	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H13.6.22
20	坤輿萬国全図（版本） 附 坤輿萬国全図（着色）	6幅	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H2.6.29
21	仙台藩天文学器機 渾天儀 1基 天球儀 2基 像限儀 1基	4基	青葉区錦ヶ丘九丁目29-32	仙台市（天文台）	H24.9.6
22	陸奥国仙台領元禄国絵図関係資料	265点	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H29.9.15
無形民俗文化財					
23	秋保の田植踊		太白区秋保町湯元	湯元田植踊保存会	S51.5.4
			太白区秋保町長袋	長袋の田植踊保存会	S51.5.4
			太白区秋保町馬場	馬場の田植踊保存会	S51.5.4
記念物／史跡					
24	陸奥国分寺跡		若林区木ノ下二丁目, 三丁目	国・仙台市ほか（仙台市）	T11.10.12
25	陸奥国分尼寺跡		若林区白萩町	仙台市	S23.12.18
26	林子平墓		青葉区子平町19-5	龍雲院（仙台市）	S17.7.21

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
27	遠見塚古墳		若林区遠見塚一丁目ほか	仙台市	S43.11.8
28	岩切城跡		宮城野区岩切字入山ほか	仙台市・利府町	S57.8.23
29	仙台北城跡		青葉区荒巻字青葉無番地ほか	国・東北大学・ 仙台市ほか（仙台市）	H15.8.27
30	仙台北郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡		太白区郡山二丁目，三丁目， 五丁目，六丁目	国・仙台市ほか （仙台市）	H18.7.28
記念物／名勝					
31	秋保大滝		太白区秋保町馬場字大滝地内	仙台市ほか（仙台市）	S17.3.7
32	磐司		太白区秋保町馬場字岳山地内	国（仙台森林管理署） ・仙台市	S20.2.22
33	おくのほそ道の風景地		宮城野区五輪一丁目ほか， 若林区木ノ下二丁目ほか	国・県・仙台市ほか （仙台市）	H27.3.10
記念物／天然記念物					
34	苦竹のイチョウ		宮城野区銀杏町	個人（仙台市）	T15.10.20
35	朝鮮ウメ		若林区古城二丁目	国（宮城刑務所）	S17.9.19
36	青葉山		青葉区荒巻字青葉12番地の内	東北大学	S47.7.11
37	姉滝		太白区秋保町馬場字岳山	国（仙台森林管理署）	S9.8.9
38	東昌寺のマルミガヤ		青葉区青葉町8-1	東昌寺	H7.3.20
(2) 県指定文化財					
有形文化財／建造物					
1	白山神社本殿	1 棟	若林区木ノ下三丁目9-1	白山神社	S30.3.25
2	諏訪神社本殿 附 棟札12枚	1 棟	青葉区上愛子字宮下40	諏訪神社	S38.7.2
3	東照宮手水舎 附 花崗岩造水盤	1 棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S39.9.4
4	賀茂神社本殿 附 棟札2枚	2 棟	泉区古内字糺1	賀茂神社	S39.9.4
5	落合観音堂 附 棟札1枚	1 棟	太白区四郎丸字落合60	光西寺（落合観音堂奉賛会）	S44.8.29
6	大崎八幡宮石鳥居	1 基	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	S45.10.30
7	亀岡八幡宮石鳥居 附 鳥居額	1 基	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡宮	S45.10.30
8	宮城県知事公館正門（旧仙台北城門）	1 棟	青葉区広瀬町5-43	宮城県	S46.11.9
9	陸奥国分寺薬師堂仁王門	1 棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	S50.4.30
10	旧仙台北城板倉	1 棟	宮城野区岩切	個人	S53.5.2
11	旧歩兵第四連隊兵舎	1 棟	宮城野区五輪一丁目301番3	仙台市	R5.3.24
有形文化財／絵画					
12	松島五大堂図	1 点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	S48.1.16
13	松島図	1 点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	S48.1.16
14	宮城県庁門前図	1 点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県（美術館）	S48.1.16
15	清海曼荼羅図 附 浄土清海曼荼羅略記袋中著	1 幅	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S49.4.30
16	仙台北城本丸大広間障壁画扇面図	2 双	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H5.12.24
17	躑躅ヶ岡花見図	6 曲半双	青葉区川内26	仙台市（博物館）	R7.12.9
有形文化財／彫刻					
18	木造十二神将立像	12 軀	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S34.8.31
19	木造阿弥陀如来立像	1 軀	泉区福岡	個人	S40.5.14
20	木造聖観音像	1 軀	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S49.4.30
21	木造不動明王立像	1 軀	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S50.4.30
22	木造毘沙門天立像	1 軀	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S50.4.30
23	木造阿弥陀如来立像	1 軀	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	S55.5.30
24	木造菩薩立像	1 軀	太白区長町一丁目7-34	十八夜観世音堂保存会	H28.2.3
25	銅造十一面観音像懸仏	1 面	泉区桂	個人	S44.4.18
有形文化財／工芸品					
26	薙刀	1 口	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S34.8.31
27	刀	1 口	太白区根岸町	個人	S34.8.31
28	刀	1 口	青葉区中山	個人	S34.8.31
29	短刀	1 口	太白区根岸町	個人	S34.8.31

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
30	銅鐘	1 口	泉区山の寺二丁目3-1	洞雲寺	S37.6.28
31	銅鐘	1 口	青葉区霊屋下23-5	瑞鳳寺	S37.6.28
有形文化財／書跡					
32	観文禽譜（稿本）	12冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
	禽譜（稿本）	11帖・3巻			
33	魚蟲譜（写本）	7 巻	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
34	關算四傳書（写本）	507冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
35	貞観政要（伏見版）	8 冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
36	光悦謡本一百番（特製本）	99冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
37	生計纂要（稿本）	88冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
38	三航蝦夷日誌（稿本）	35冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
39	北海道風土記（稿本） 附 北海道風土記（草稿）6冊 附 琉球新誌1冊 附図1枚 附 小笠原島新誌1冊 附図1枚	27冊, 附図10枚	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
40	言海（稿本）	32冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.1.31
41	皇国地誌	26冊, 附図495鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
42	朝鮮古刊本	46部262冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H16.6.29
43	環海異聞（写本）	16冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H17.7.26
44	金城秘韞（写本）	2 冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H17.7.26
45	英文翻訳彼理日本紀行（稿本）	10冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H17.7.26
46	奥州名所図会（自筆稿本）	4 冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H17.7.26
47	熟語本位英和大辞典（自筆原稿）	1 本	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H17.7.26
48	宮城県漁具図解及び略解	2 帖	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H19.2.16
49	奥羽観蹟聞老志	20冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H19.10.26
50	風土記御用書出	66冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H19.10.26
51	類聚三代格（抄本）	1 冊	青葉区川内27-1	東北大学	R6.8.22
有形文化財／考古資料					
52	皮袋形土器／上ノ原遺跡出土	1 箇	太白区秋保町湯元字寺田原40-7	仙台市	H24.5.1
53	土偶／鍛冶沢遺跡出土	1 箇	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H24.5.1
54	野川遺跡出土品	729点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H24.5.1
有形文化財／歴史資料					
55	仙台北絵図	13鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
56	仙台北絵図	13鋪, 1帖, 1 冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
57	仙台別業・江戸屋敷等絵図	13鋪, 7枚, 2幅, 2冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
58	城・要害・在郷屋敷絵図 附 関係文書1通	109鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
59	領内図	116鋪, 24枚, 4冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
60	飛地領絵図 附 関係文書5件	18鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
61	蝦夷地関係絵図	14鋪, 16枚, 1冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
62	境絵図	21鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
63	伊能図（中図）附 北極出地度里程測量3冊	5 軸	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H15.7.1
64	仙台祭絵関係資料	1帖, 1巻	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H17.7.26
65	国絵図 正保年間奥州仙台北絵図（写）	1 幅	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H20.5.2
無形民俗文化財					
66	愛子の田植踊		青葉区下愛子	愛子の田植踊保存会	S35.4.23
67	大倉の役人田植踊		青葉区大倉	大倉役人田植踊保存会	S35.4.23
68	新川の田植踊		青葉区新川	新川の田植踊保存会	S35.4.23
69	芋沢の田植踊		青葉区芋沢	芋沢の田植踊保存会	S35.4.23

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
70	下倉の田植踊		青葉区大倉	下倉の田植踊保存会	S46.8.3
71	大崎八幡宮の能神楽		青葉区八幡	大崎八幡宮能神楽保存会	S47.10.11
72	野口鹿踊		太白区秋保町馬場	野口鹿踊保存会	S47.10.11
73	川前鹿踊・川前剣舞		青葉区芋沢	川前鹿踊剣舞保存会	S48.11.6
74	福岡の鹿踊・剣舞		泉区福岡	福岡の鹿踊・剣舞保存会	H3.8.30
75	滝原の踊拝		太白区秋保町馬場	滝原の踊拝保存会	H3.8.30
76	上谷刈の鹿踊・剣舞		泉区上谷刈	上谷刈の鹿踊・剣舞保存会	H11.10.29
77	大沢の田植踊		泉区七北田字大沢	大沢田植踊保存会	H27.2.24
天然記念物					
78	鶯倉神社の姥杉	1 本	泉区福岡字小山19-2	鶯倉神社	H10.1.16
79	賀茂神社のイロハモミジ	2 本	泉区古内字糺1	賀茂神社	H11.7.2
80	賀茂神社のタラヨウ	1 本	泉区古内字糺1	賀茂神社	H11.7.2
(3) 市指定文化財					
有形文化財／建造物					
1	善応寺開山堂	1 棟	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	S43.2.15
2	旧伊達邸	1 棟	太白区茂庭字人來田西143-3	仙台市	S58.12.1
3	大年寺惣門	1 棟	太白区茂ヶ崎4丁目	(仙台市)	S60.9.4
4	成覚寺山門（旧浄眼院殿霊屋門）	1 棟	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S61.12.20
5	莊厳寺山門	1 棟	青葉区新坂町12-1	莊厳寺	S61.12.20
6	輪王寺山門	1 棟	青葉区北山一丁目14-1	輪王寺	S61.12.20
7	大満寺虚空蔵堂 附 厨子1基	1 棟	太白区向山四丁目17-1	大満寺	S62.3.30
8	大願寺山門（旧万寿院殿霊屋門）	1 棟	青葉区新坂町7-1	大願寺	S62.3.30
9	泰心院山門（旧仙台藩藩校養賢堂正門）	1 棟	若林区南鍛冶町100	泰心院	S62.3.30
10	宇那禰神社本殿 附 棟札5枚	1 棟	青葉区芋沢字明神12	宇那禰神社	S47.12.27
11	臨済院地内弁財天堂並びに堂地	1 棟	青葉区臨済院	個人	S62.9.11
12	小滝沢橋	1 基	太白区秋保町馬場字駅	仙台市	S58.8.1
13	旧熊谷家住宅	1 棟	泉区福岡字岳山9-5	仙台市	S61.4.1
14	旧石垣家住宅 附 土蔵（米蔵）1棟	1 棟	青葉区大倉字若林14-2	仙台市	H6.3.29
15	愛宕神社本殿・拝殿 附 棟札3枚	2 棟	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H8.1.30
16	毘沙門堂唐門	1 棟	若林区荒町206番地	満福寺	H8.1.30
17	旧姉齒家茶室（残月亭） 附 扁額「残月亭」1面	1 棟	青葉区川内追廻無番地	仙台市	H9.7.1
18	陸奥国分寺鐘樓堂	1 棟	若林区木ノ下三丁目78番10	陸奥国分寺	R5.3.29
19	陸奥国分寺準胝観音堂 附 棟札1枚・陸奥国分寺準胝観音堂縁起1巻・ 準胝観音碑1基	1 棟	若林区木ノ下三丁目70番2	陸奥国分寺	R6.3.29
有形文化財／絵画					
20	紙本着色伊達政宗画像（狩野探幽筆）	1 幅	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S44.7.31
21	菊絵和歌屏風	2 隻	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S51.7.1
22	菅井梅閑水亭午翠図	1 幅	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S51.7.1
23	仙台城旧本丸及び二ノ丸御殿障壁画 紙本着色葵図（2曲屏風）1双 紙本金地著色花木図 6面 紙本金地著色松に山鳥図（東東洋筆）4面		青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
24	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
25	絹本着色霊昭女、牡丹、芙蓉図（伊達綱宗筆）	3 幅	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
26	紙本着色河図之図（東東洋筆）	1 幅	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
27	銅板油彩悲しみのマリア像	1 面	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
28	瀟湘八景図（雪村周継筆）	6 幅	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H7.3.23
29	大年寺山真景図（伝高久靄厓筆）	1 面	青葉区川内26	個人	H7.3.23
有形文化財／彫刻					
30	木造釈迦如来坐像	1 躯	青葉区北山一丁目14-1	輪王寺	S51.7.1
31	木造釈迦如来立像	1 躯	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H2.3.19
32	木造毘沙門天立像	1 躯	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H2.3.19
33	木造安国上人坐像	1 躯	若林区土樋一丁目11-16	真福寺	H2.3.19

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
34	宝冠釈迦如来坐像	1 軀	青葉区国見一丁目15-1	壽徳寺	H2.3.19
35	木造雲居希膺坐像	1 軀	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H9.3.25
36	木造大元帥明王立像 厨子入	1 軀	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	H9.3.25
37	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	青葉区三条町7-27	大法寺	H10.3.24
38	木造阿弥陀三尊像	3 軀	宮城野区榴岡四丁目10-1	円徳寺	H10.3.24
39	木造阿弥陀如来立像	1 軀	若林区新寺二丁目4-10	報恩寺	H10.3.24
40	木造愛宕尊騎馬像・六地藏菩薩立像	7 軀	青葉区新坂町6-1	正圓寺	H10.3.24
41	舞楽面 陵王・納曽利	各 1 面	若林区木ノ下三丁目9-1	白山神社	H14.3.22
有形文化財／工芸品					
42	銅造薬師十二神将像掛額	1 面	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	S51.7.1
43	梵鐘	1 口	太白区向山四丁目4-1	大満寺	S52.3.1
44	仙台藩歴代藩主所用具足	11 領	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
45	服飾類 伊達政宗所用	一括	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
	白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 1 具 白絹地小袖 1 領 藍平絹地直垂 1 領 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 1 領 表袴 1 腰 大口袴 1 腰 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 1 腰 白綾地鶴印金帯 1 条				
46	孔雀羽根織込陣羽織 伊達重村所用	1 領	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
47	茶杓 仙台藩歴代藩主作	61 箇	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
	伊達政宗作 2 箇 伊達忠宗作 2 箇 伊達綱宗作 6 箇 伊達綱村作 7 箇 伊達吉村作 36 箇 仙台藩主作 7 箇 以上茶杓箆筒入 伊達忠宗作 1 箇				
48	仙台北本丸御殿金具	2 個	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
	魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草紋釘隠				
49	花鳥山水孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴	1 面	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
	「元禄貳巳巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1 合				
50	黒漆五枚胴具足（伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領）	1 領	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H20.3.24
51	朱皺漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付（伝上杉謙信所用）	1 領	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H20.3.24
52	脇差 附 金梨地葵紋拵	1 口	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H20.3.24
53	葵紋菊蒔絵耳盤	1 具	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H24.12.21
54	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1 挺	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H26.7.31
有形文化財／書跡					
55	雲居禅師墨跡三幅対	3 幅	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	S51.7.1
有形文化財／古文書					
56	印章 仙台伊達家伝来	133 顆	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
57	伊達治家記録（仙台市博物館本）	696 冊	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
58	伊達世家譜及続編（仙台市博物館本）	268 冊	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
59	伊達出自正統世次考（仙台市博物館本） 伊達出自正統世次考首巻 1 冊 伊達出自世次考 9 巻9 冊 伊達正統世次考 10 巻14 冊 伊達出自正統世次考系図 1 冊 附 御代々考考證 遊佐好生筆 10 冊	25 冊	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
60	林子平自筆写本絵図類 附 六無斎遺詠 1 冊	8 枚	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
61	支倉家文書	一括	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
62	大梅寺所蔵文書（慈悲尾山寺関連文書）	1 巻	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H15.3.25
63	朴沢文書	12 通 附古文書写4通、 系図写5点	青葉区川内27-1	東北大学	R7.8.29
有形文化財／考古資料					
64	伊達政宗墓所出土品	一括	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S60.9.4
	糸巻太刀刀身 1 口 糸巻太刀拵 1 腰 黒漆葛蒔絵文箱 1 合 青龍付文鎮（文箱内容品） 1 点 墨（文箱内容品） 1 挺 黒漆白梅蒔絵箱 1 合 梨地菊蒔絵箱 1 合 黒漆鉄線蒔絵香合 1 合 梨地梅笹蒔絵硯箱 1 合 筆入（硯箱内容品） 1 点 墨（硯箱内容品） 1 挺 硯（硯箱内容品） 1 面 水滴（硯箱内容品） 1 点 梨地煙管箱 1 合 煙管羅字（煙管箱内容品） 2 点 煙管羅字（煙管箱内容品） 2 点 梨地菊蒔絵印籠 1 具 皮袋 1 点 慶長1 分金（皮袋内容品） 3 枚 携帯用磁石（皮袋内容品） 1 点 金製ブローチ（皮袋内容品） 1 点 練玉（皮袋緒締） 1 点 銀製服飾品 1 点 円鏡 1 点 毛拔 2 点 雲母製菜板 5 枚 葵紋金製菜板 1 枚 金具一括 残欠類一括				

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
65	伊古田遺跡出土土偶	4 箇	青葉区国分町三丁目7-1	仙台市	H6.3.29
66	戸ノ内遺跡方形周溝墓出土土器	2 箇	青葉区国分町三丁目7-1	仙台市	H6.3.29
67	中在家南遺跡出土遺物	1, 894点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H15.3.25
68	押口遺跡出土遺物	292点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H15.3.25
69	春日社古墳出土副葬品	一括	青葉区国分町三丁目7-1	仙台市	H24.4.10
70	仙台北城丸跡出土ガラス製品	474点	宮城野区高砂2丁目22-1	仙台市	R8.3.30
71	若林城跡出土織部皿	1 点	宮城野区高砂2丁目22-1	仙台市	R8.3.30
有形文化財／歴史資料					
72	晴宗公采地下賜録	2 冊	青葉区川内26	仙台市（博物館）	S51.7.1
73	芭蕉句碑	1 基	若林区木ノ下二丁目70	陸奥国分寺	S51.7.1
74	大淀三千風供養碑	1 基	若林区木ノ下二丁目70	陸奥国分寺	S51.7.1
75	芭蕉句碑	1 基	宮城野区榴ヶ岡105-3	榴岡天満宮	S52.3.1
76	原町苦竹の道知るべ石	1 基	宮城野区原町三丁目	仙台市	S52.3.1
77	澱不動尊文永十年板碑	1 基	青葉区広瀬町8-1	澱町むつみ会	H6.3.29
78	堤人形土型	292点	青葉区堤町	個人	H11.2.1
79	仙台北城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1 巻	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H11.2.1
80	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H11.3.23
81	幕府提出用仙台北城下絵図 奥州仙台北城絵図（推定 正保2～3年）	1 鋪	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H12.4.28
82	藩政用仙台北城下絵図 仙台北城下五疊卦絵図（推定 元禄4～5年） 仙台北城下絵図（推定 天明6～寛政元年）	4 鋪 1 鋪	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H12.4.28
83	仙台北城下鳥瞰図 仙台北城下絵図（文久2年） 明治元年現状仙台北城市之図（推定 明治元年）	1 幅 1 面	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H12.4.28
84	仙台北藩修復帳 御修復帳 作製年 寛文12年、延宝8年、貞享3年、元禄11年 補筆年（推定 安永2～4年）	1 冊	青葉区荒巻字青葉6-6	東北大学	H12.4.28
85	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱1合	1 幅	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H13.3.22
86	旧大橋の擬宝珠	1 口	青葉区川内26	仙台市（博物館）	H13.3.22
87	堤人形土型	1, 759点	青葉区堤町	個人	H15.3.25
88	朴沢学園裁縫教育資料	一括	青葉区川平二丁目26-1	学校法人朴沢学園	H23.7.1
89	朴沢学園裁縫学習資料	3, 956点	青葉区川平二丁目26-1	学校法人朴沢学園	R28.3
有形民俗文化財					
90	上前十三塚	13基	太白区坪沼	個人	H2.3.19
91	源頼政鶴退治図	1 面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H4.7.7
92	牛若丸剣道修行図	1 面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H4.7.7
93	中村景貞乗馬図	1 面	太白区四郎丸字落合59	光西寺	H4.7.7
94	曳馬図絵馬	1 面	太白区四郎丸字落合59	光西寺	H4.7.7
95	宇治川先陣図	1 面	太白区四郎丸字落合59	光西寺	H4.7.7
96	金銅板押出三重塔	1 面	太白区四郎丸字落合59	光西寺	H4.7.7
97	旧石切町の石工用具（黒田家資料）	362点	青葉区八幡・宮城野区高砂二丁目22-1	個人・仙台市	H16.11.30
98	旧石切町の石工用具（小梨家資料）	283点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H16.11.30
無形民俗文化財					
99	馬場愛宕神社神楽		太白区秋保町馬場	馬場愛宕神社神楽保存会	S61.8.1
100	榊流青麻神楽		宮城野区岩切字青麻沢	榊流青麻神楽保存会	H3.10.1
101	生出森八幡神楽		太白区茂庭	生出森八幡神楽保存会	H3.10.1
102	大崎八幡宮の松焚祭（どんと祭）		青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	H17.1.17
103	仙台消防階子乗り		青葉区堤町雨宮町2-15	仙台消防階子乗り保存会	H29.11.30
史跡					
104	善応寺横穴古墳群		宮城野区燕沢二丁目	善応寺	S43.2.15
105	三沢初子の墓など		宮城野区榴岡五丁目4	仙台市	S47.2.1

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
106	刀工本郷国包各代の墓所		若林区新寺二丁目7-33	善導寺	S55.10.20
107	経ヶ峯伊達家墓所		青葉区霊屋下	仙台市ほか	S59.7.21
108	西館跡		青葉区下愛子	個人	S50.12.11
109	郷六城跡		青葉区郷六	個人	S50.12.11
110	栽松院墓所		泉区根白石字館下	満興寺	S43.3.1
111	松森焔硝蔵跡		泉区南光台東二丁目35-8	仙台市	S62.5.1
112	東光寺の石窟群域・西平場		宮城野区岩切字入山	仙台市（東光寺）・東光寺	H18.1.17
113	法領塚古墳		若林区一本杉町113の一部ほか	聖ウルスラ学院	R7.2.17
天然記念物					
114	霊屋下セコイヤ類化石林		青葉区米ヶ袋一丁目、三丁目、霊屋下	宮城県	S48.8.6
115	大梅寺のヒヨクヒバ	1 本	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	S52.3.1
116	簪桜	2 本	青葉区愛子中央	個人	S61.5.30
117	泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地		泉区福岡字岳山	仙台市	S40.5.12
118	賀茂神社のアラカシ	2 本	泉区古内字糺1	賀茂神社	S60.4.25
119	仙台城二の丸跡南西境の杉並木（部分）	13本	仙台市青葉区川内12-2	国(財務省東北財務局) 東北大学	H18.12.5
120	子平町の藤	1 株	青葉区子平町	個人	H23.7.1
(4) 国登録文化財					
有形文化財／建造物					
1	青下第1ダム	1 基	青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
2	青下第1ダム取水塔	1 基	青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
3	青下隧道入口	1 基	青葉区大倉字大原新田12-7地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
4	青下第2ダム	1 基	青葉区熊ヶ根字大原道27-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
5	青下第3ダム	1 基	青葉区大倉字前原1-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
6	青下量水堰	1 基	青葉区大倉字西原38地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
7	青下ダム旧管理事務所	1 棟	青葉区熊ヶ根字大原道18地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
8	青下ダム記念碑	1 基	青葉区熊ヶ根字大原道18地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
9	中原系苦地取水口	1 基	青葉区芋沢字中田西29-1地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
10	中原浄水場旧管理事務所	1 棟	青葉区芋沢字中原24地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
11	荒巻配水池入口	1 基	青葉区国見三丁目6-1地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
12	三居沢発電所	1 棟	青葉区荒巻三居沢17-1	東北電力株式会社	H11.9.7
13	菊地家住宅主屋	1 棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
14	菊地家住宅隠居所	1 棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
15	菊地家住宅板倉	1 棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
16	菊地家住宅土蔵	1 棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
17	庄子屋醤油店店舗及び住宅	1 棟	青葉区八幡	個人	H12.12.20
18	門間箆笥店板倉	1 棟	若林区南鍛冶町143	(株)門間箆笥店	H14.3.12
19	門間箆笥店稲荷社	1 棟	若林区南鍛冶町143	(株)門間箆笥店	H14.3.12
20	門間箆笥店塗り工房	1 棟	若林区南鍛冶町143	(株)門間箆笥店	H14.3.12
21	大崎八幡宮社務所	1 棟	青葉区八幡四丁目170	大崎八幡宮	H23.7.25
22	大崎八幡宮旧宮司宿舎	1 棟	青葉区八幡四丁目170	大崎八幡宮	H23.7.25
23	大崎八幡宮神馬舎	1 棟	青葉区八幡四丁目170	大崎八幡宮	H23.7.25
24	東北学院大学本館（旧東北学院専門部校舎）	1 棟	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	H26.12.19
25	ラーハウザー記念東北学院礼拝堂	1 棟	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	H26.12.19
26	東北学院大学大学院棟 （旧シュネーダー記念東北学院図書館）	1 棟	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	H26.12.19
27	旧仙台医学専門学校博物・理化学教室 （東北大学本部棟3）	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
28	旧仙台医学専門学校六号教室 （東北大学魯迅の階段教室）	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
29	旧第二高等学校書庫（東北大学文化財収蔵庫）	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
30	旧東北帝国大学附属図書館閲覧室 （東北大学史料館）	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
31	旧東北帝国大学理学部化学教室棟 （東北大学本部棟1）	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
32	定義如来西方寺御廟貞能堂	1 棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
33	定義如来西方寺御守授所	1 棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
34	定義如来西方寺鐘樓堂	1 棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
35	定義如来西方寺手水舎	1 棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
36	定義如来西方寺山門	1 棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
37	青葉神社本殿	1 棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
38	青葉神社中門及び祝詞舎	1 棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
39	青葉神社透塀	1 棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
40	青葉神社拝殿	1 棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
41	青葉神社神饌所及び伝供廊	1 棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
42	青葉神社旧愛姫社鞘堂	1 棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
43	宮城野納豆製造所納豆及び納豆菌製造棟	1 棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
44	宮城野納豆製造所熟成棟	1 棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
45	宮城野納豆製造所石蔵及び豆小屋	1 棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
46	宮城野納豆製造所休憩室	1 棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
47	宮城野納豆製造所ボイラー室	1 棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
48	宮城野納豆製造所亜炭小屋	1 棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
49	宮城野納豆製造所車庫	1 棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
50	鳥山米穀店店舗兼主屋	1 棟	宮城野区原町	個人	R2.8.17
51	旧東北帝国大学理学部生物学教室	1 棟	青葉区片平二丁目1-5	東北大学	R3.10.14
52	旧東北帝国大学法文学部第二研究室	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
53	旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学教室	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
54	旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学実験室	1 棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
55	旧仙台高等工業学校建築学科棟	1 棟	青葉区片平二丁目1-3	東北大学	R3.10.14
56	本多記念館	1 棟	青葉区片平二丁目1-5	東北大学	R3.10.14
57	旧制第二高等学校正門	1 基	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
58	旧東北帝国大学正門（東北大学正門）	1 基	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
59	東北学院大学正門	1 基	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	R3.10.14
60	横田家住宅板倉	1 棟	宮城野区鶴巻	個人	R6.8.15
61	西光寺大滝不動堂	1 棟	太白区秋保町馬場字大滝11	西光寺	R7.11.17
有形文化財／歴史資料					
62	紙芝居資料	5,652点	泉区紫山一丁目1-1	宮城県（図書館）	H18.3.31
63	建築教育・研究資料 （仙台高等工業学校建築学科旧蔵）	1,437点	青葉区荒巻字青葉6-6	東北大学	R1.7.23
64	官立高等教育機関営繕組織近代建築図面 （東北帝国大学営繕課旧蔵）	1,139点	青葉区片平二丁目1-1・青葉区荒巻字青葉6-6	東北大学	R1.7.23
(5) 市登録文化財					
有形文化財／建造物					
1	安藤家住宅	1 棟	青葉区宮町	個人	H7.9.5
2	釈迦堂	1 棟	宮城野区榴岡四丁目11-11	孝勝寺	H7.9.5
3	壽徳寺山門	1 棟	青葉区国見一丁目15-1	壽徳寺	H7.9.5
4	松音寺山門	1 棟	若林区新寺四丁目6-28	松音寺	H7.9.5
5	稱念寺本堂	1 棟	青葉区新坂町10-3	稱念寺	H7.9.5
6	昌繁寺山門、観音堂	2 棟	青葉区新坂町13-1	昌繁寺	H7.9.5
7	正楽寺本堂、山門	2 棟	若林区新寺二丁目6-35	正楽寺	H7.9.5
8	榴岡天満宮唐門	1 棟	宮城野区榴ヶ岡105-3	榴岡天満宮	H7.9.5
9	仏眼寺本堂	1 棟	若林区荒町35	仏眼寺	H7.9.5
10	冷源寺山門	1 棟	若林区成田町125	冷源寺	H7.9.5
11	大崎八幡宮石段	1 基	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	H7.9.5
12	亀岡八幡宮石段	1 基	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡宮	H7.9.5

番号	名 称	員数	所在地	所有者（管理者）	指定年月日
13	東照宮石段	2 基	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	H7.9.5
14	仙岳院本堂	1 棟	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H8.3.5
15	清浄光院本堂	1 棟	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H8.3.5
16	延寿院本堂・地藏堂	2 棟	青葉区宮町五丁目6-18	延寿院	H8.3.5
17	善入院観音堂	1 棟	宮城野区原町一丁目1-67	善入院	H8.3.5
18	瑞鳳寺高尾門	1 棟	青葉区霊屋下23-5	瑞鳳寺	H8.3.5
19	生出森八幡神社里宮	1 棟	太白区茂庭字中ノ瀬西31	生出森八幡神社	H8.3.5
20	北山羽黒神社境内社	1 棟	青葉区北山二丁目8-15	羽黒神社	H8.3.5
21	愛宕神社神門	1 棟	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H8.3.5
有形文化財／彫刻					
22	十一面観音菩薩立像	1 軀	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	H9.3.25
23	毘沙門天立像	1 軀	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	H9.3.25
24	阿弥陀如来坐像	1 軀	青葉区新坂町13-1	昌繁寺	H9.3.25
25	釈迦三尊坐像	3 軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
26	阿弥陀如来坐像	1 軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
27	薬師三尊十二神将立像	15 軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
28	五大明王像	5 軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
29	馬頭観音菩薩坐像	1 軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
30	日光・月光菩薩立像	2 軀	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	H9.3.25
31	釈迦如来坐像 附 胎内仏1 軀、名札1 枚	1 軀	若林区新寺四丁目7-6	大林寺	H9.3.25
32	木造 阿弥陀如来二十五菩薩像及び地藏菩薩立像	27 軀	若林区新寺二丁目4-10	報恩寺	H10.3.24
33	木造 観世音・勢至菩薩坐像	2 軀	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	H10.3.24
34	木造 聖観音菩薩立像	1 軀	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	H10.3.24
35	木造 地藏菩薩立像	4 軀	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
36	木造 不動三尊立像	3 軀	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
37	木造 閻魔十王像	11 軀	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
38	木造菩薩立像	1 軀	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	R7.4.24
無形民俗文化財					
39	木ノ下白山神社丹波神楽		若林区木ノ下	木ノ下白山神社丹波神楽保存会	H8.3.5
40	七郷神社丹波神楽		若林区荒井	七郷神社丹波神楽保存会	H8.3.5
41	仙台東照宮神楽		青葉区東照宮	仙台東照宮神楽保存会	H8.3.5
42	秋保神社神楽		太白区秋保町	秋保神社神楽保存会	H8.3.5
43	通町熊野神社神楽		青葉区通町	通町熊野神社神楽保存会	H8.3.5

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

仙台市の文化財 種類と数

令和8年4月1日現在

区 分	種 別	国指定	県指定	市指定	小 計	国登録	市登録	小 計	総 計
有 形 文 化 財	建 造 物	5 (1)	11	19	35	61	21	82	117
	絵 画		6	10	16				16
	彫 刻	1	8	12	21		17	17	38
	工 芸 品	5	6	13	24				24
	書 跡	3 (2)	20	1	24				24
	古 文 書	2		8	10				10
	考 古 資 料	2	3	8	13				13
	歴 史 資 料	4 (1)	11	18	33	3		3	36
	小 計	22	65	89	176	64	38	102	278
無 形 文 化 財		0			0				0
有形民俗文化財				9	9				9
無形民俗文化財		1	12	5	18		5	5	23
記 念 物	史 跡	7		10	17				17
	名 勝	3			3				3
	天然記念物	5	3	7	15				15
	小 計	15	3	17	35				35
総 計		38	80	120	238	64	43	107	345

註1：国指定の有形文化財（重要文化財）の中で特に価値の高いものが国宝に指定されています。

註2：（ ）内は、国宝の件数を内数で示しています。

註3：地域を定めないで指定している国指定特別天然記念物（カモシカ等）は除いています。

Ⅵ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番 号	書 名	番 号	書 名
第 1集	天然記念物霊屋下セコイヤ化石林調査報告書(昭和39年4月)	第 40集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅰ (昭和57年3月)
第 2集	仙台北城(昭和42年3月)	第 41集	年報3(昭和57年3月)
第 3集	仙台市燕沢善応寺横穴古墳群調査報告書(昭和43年3月)	第 42集	郡山遺跡－宅地造成に伴う緊急発掘調査－(昭和57年3月)
第 4集	史跡陸奥国分尼寺跡環境整備並びに調査報告書(昭和44年3月)	第 43集	栗遺跡(昭和57年8月)
第 5集	仙台市南小泉法領塚古墳調査報告書(昭和47年8月)	第 44集	鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書(昭和57年12月)
第 6集	仙台市荒巻五本松窯跡発掘調査報告書(昭和48年10月)	第 45集	茂庭－茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書－(昭和58年3月)
第 7集	仙台市富沢裏町古墳発掘調査報告書(昭和49年3月)	第 46集	郡山遺跡Ⅲ－昭和57年度発掘調査概報－(昭和58年3月)
第 8集	仙台市向山愛宕山横穴群発掘調査報告書(昭和49年5月)	第 47集	仙台平野の遺跡群Ⅱ－昭和57年度発掘調査報告書－(昭和58年3月)
第 9集	仙台市根岸町宗禅寺横穴群発掘調査報告書(昭和51年3月)	第 48集	史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備予備調査概報(昭和58年3月)
第 10集	仙台市中田町安久東遺跡発掘調査概報(昭和51年3月)	第 49集	仙台市文化財分布調査報告Ⅰ(昭和58年3月)
第 11集	史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報(昭和51年3月)	第 50集	岩切畑中遺跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 12集	史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報(昭和52年3月)	第 51集	仙台市文化財分布地図(昭和58年3月)
第 13集	南小泉遺跡－範囲確認調査報告書－(昭和53年3月)	第 52集	南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第2次調査報告－(昭和58年3月)
第 14集	栗遺跡発掘調査報告書(昭和54年3月)	第 53集	中田畑中遺跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 15集	史跡遠見塚古墳昭和53年度環境整備予備調査概報(昭和54年3月)	第 54集	神明社窯跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 16集	六反田遺跡発掘調査(第2・3次)のあらまし(昭和54年3月)	第 55集	南小泉遺跡－青葉女子学園移転新宮工事地内調査報告－(昭和58年3月)
第 17集	北屋敷遺跡(昭和54年3月)	第 56集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅱ(昭和58年3月)
第 18集	栢江遺跡発掘調査報告書(昭和55年3月)	第 57集	年報4(昭和58年3月)
第 19集	仙台市地下鉄関係分布調査報告書(昭和55年3月)	第 58集	今泉城跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 20集	史跡遠見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報(昭和55年3月)	第 59集	下ノ内浦遺跡(昭和58年3月)
第 21集	仙台市開発関係遺跡調査報告書Ⅰ(昭和55年3月)	第 60集	南小泉遺跡－倉庫建築に伴う緊急発掘調査報告書－(昭和58年3月)
第 22集	経ヶ峯(昭和55年3月)	第 61集	山口遺跡Ⅱ－仙台市体育館建設予定地－(昭和59年2月)
第 23集	年報1(昭和55年3月)	第 62集	燕沢遺跡(昭和59年3月)
第 24集	今泉城跡発掘調査報告書(昭和55年8月)	第 63集	史跡陸奥国分寺跡昭和58年度環境整備予備調査概報(昭和59年3月)
第 25集	三神峯遺跡発掘調査報告書(昭和55年12月)	第 64集	郡山遺跡Ⅳ－昭和58年度発掘調査概報－(昭和59年3月)
第 26集	史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報(昭和56年3月)	第 65集	仙台平野の遺跡群Ⅲ－昭和58年度発掘調査報告書－(昭和59年3月)
第 27集	史跡陸奥国分寺跡昭和55年度環境整備予備調査概報(昭和56年3月)	第 66集	年報5(昭和59年3月)
第 28集	年報2(昭和56年3月)	第 67集	富沢水田遺跡－第1冊－泉崎前地区(昭和59年3月)
第 29集	郡山遺跡Ⅰ－昭和55年度発掘調査概報－(昭和56年3月)	第 68集	南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第3次調査報告－(昭和59年3月)
第 30集	山田上ノ台遺跡発掘調査概報(昭和56年3月)	第 69集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅲ(昭和59年3月)
第 31集	仙台市開発関係遺跡調査報告書Ⅱ(昭和56年3月)	第 70集	戸ノ内遺跡発掘調査報告書(昭和59年3月)
第 32集	鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書(昭和56年3月)	第 71集	後河原遺跡(昭和59年3月)
第 33集	山口遺跡発掘調査報告書(昭和56年3月)	第 72集	六反田遺跡Ⅱ(昭和59年3月)
第 34集	六反田遺跡発掘調査報告書(昭和56年12月)	第 73集	仙台市文化財分布調査報告Ⅱ(昭和59年3月)
第 35集	南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第1次調査報告－(昭和57年3月)	第 74集	郡山遺跡Ⅴ－昭和59年度発掘調査概報－(昭和60年3月)
第 36集	北前遺跡発掘調査報告書(昭和57年3月)	第 75集	仙台平野の遺跡群Ⅳ－昭和59年度発掘調査報告書－(昭和60年3月)
第 37集	仙台平野の遺跡群Ⅰ－昭和56年度発掘調査報告書－(昭和57年3月)	第 76集	仙台北城三ノ丸跡発掘調査報告書(昭和60年3月)
第 38集	郡山遺跡Ⅱ－昭和56年度発掘調査概報－(昭和57年3月)	第 77集	山田上ノ台遺跡－昭和59年度発掘調査報告書－(昭和60年3月)
第 39集	燕沢遺跡発掘調査報告書(昭和57年3月)	第 78集	中田畑中遺跡－第2次発掘調査報告書－(昭和60年3月)

Ⅶ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番 号	書 名	番 号	書 名
第 79集	欠ノ上Ⅰ遺跡発掘調査報告書（昭和60年3月）	第121集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅵ（昭和63年3月）
第 80集	南小泉遺跡－第12次発掘調査報告書－（昭和60年3月）	第122集	年報9（昭和63年3月）
第 81集	南小泉遺跡－第13次発掘調査報告書－（昭和60年3月）	第123集	鴻ノ巣遺跡（平成元年3月）
第 82集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅳ（昭和60年3月）	第124集	郡山遺跡Ⅸ－昭和63年度発掘調査概報－（平成元年3月）
第 83集	年報6（昭和60年3月）	第125集	仙台平野の遺跡群Ⅷ－昭和63年度発掘調査報告書－（平成元年3月）
第 84集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅲ（昭和60年3月）	第126集	富沢遺跡・泉崎遺跡－仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ－（平成元年3月）
第 85集	宮城県仙台市愛宕山装飾横穴古墳発掘調査報告書（昭和60年8月）	第127集	上野遺跡－電力鉄塔関係発掘調査報告書－（平成元年3月）
第 86集	郡山遺跡Ⅵ－昭和60年度発掘調査概報－（昭和61年3月）	第128集	富沢・泉崎浦・山口遺跡－富沢遺跡第36～48次・泉崎浦遺跡第4次・山口遺跡第5～8次発掘調査報告書－（平成元年3月）
第 87集	仙台平野の遺跡群Ⅴ－昭和60年度発掘調査報告書－（昭和61年3月）	第129集	北前遺跡第3次発掘調査報告書（平成元年3月）
第 88集	上野遺跡市道十文字線発掘調査略報（昭和61年3月）	第130集	茂ヶ崎横穴墓群（平成元年3月）
第 89集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅴ（昭和61年3月）	第131集	南小泉遺跡－第15次発掘調査報告書－（平成元年3月）
第 90集	若林城跡－平安時代の集落跡－（昭和61年3月）	第132集	年報10（平成元年3月）
第 91集	東北電力鉄塔関係遺跡調査報告書（昭和61年3月）	第133集	郡山遺跡Ⅹ－平成元年度発掘調査概報－（平成2年3月）
第 92集	五城中学校北窯跡発掘調査報告書（昭和61年3月）	第134集	仙台平野の遺跡群Ⅸ－平成元年度発掘調査報告書－（平成2年3月）
第 93集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅳ（昭和61年3月）	第135集	富沢・泉崎浦・山口遺跡（2）－富沢遺跡第50～56次・山口遺跡第10・12次発掘調査報告書－（平成2年3月）
第 94集	年報7（昭和61年3月）	第136集	下ノ内遺跡－仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ－（平成2年3月）
第 95集	柳生－土地区画整理事業に伴う柳生地区の遺跡分布調査と、松木遺跡の発掘調査報告書－（昭和62年3月）	第137集	茂庭けんとう城・東館跡発掘調査報告書（平成2年3月）
第 96集	郡山遺跡Ⅶ－昭和61年度発掘調査概報－（昭和62年3月）	第138集	大野田古墳群発掘調査報告書（平成2年3月）
第 97集	仙台平野の遺跡群Ⅵ－昭和61年度発掘調査報告書－（昭和62年3月）	第139集	赤生津遺跡発掘調査報告書（平成2年3月）
第 98集	富沢 仙台市都市計画道路長町・折立線建設に伴う富沢遺跡第15次発掘調査報告書（昭和62年3月）	第140集	南小泉遺跡－第16～18次発掘調査報告書－（平成2年3月）
第 99集	五本松窯跡発掘調査報告書（昭和62年3月）	第141集	南小泉遺跡－第19次発掘調査報告書－（平成2年3月）
第100集	山田上ノ台遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）	第142集	富沢遺跡第49次・東光寺遺跡第3次・青葉山A遺跡（平成2年3月）
第101集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅵ（昭和62年3月）	第143集	年報11（平成2年3月）
第102集	六反田遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）	第144集	仙台城址の自然（平成2年3月）
第103集	元袋Ⅲ遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）	第145集	郡山遺跡－第84次・85次発掘調査報告書－（平成2年3月）
第104集	富沢遺跡－東北地方建設局長町宿舍建設工事に伴う発掘調査報告書－（昭和62年3月）	第146集	郡山遺跡ⅩⅠ－平成2年度発掘調査概報－（平成3年3月）
第105集	北前遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）	第147集	仙台平野の遺跡群Ⅹ－平成2年度発掘調査報告書－（平成3年3月）
第106集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅴ（昭和62年3月）	第148集	鴻ノ巣遺跡－第6次調査報告書－（平成3年3月）
第107集	年報8（昭和62年3月）	第149集	富沢遺跡－第30次調査報告書Ⅰ（縄文～近世編）－（平成3年3月）
第108集	春日社古墳・烏居塚古墳発掘調査報告書（昭和62年8月）	第150集	富沢遺跡－第35次発掘調査報告書－（平成3年3月）
第109集	南小泉遺跡－第14次発掘調査報告書－（昭和62年11月）	第151集	山口遺跡－第9次・第10次発掘調査報告書－（平成3年3月）
第110集	郡山遺跡Ⅷ－昭和62年度発掘調査概報－（昭和63年3月）	第152集	富沢・泉崎浦・山口遺跡（3）－富沢遺跡第57～68次・山口遺跡第13・14次発掘調査報告書－（平成3年3月）
第111集	仙台平野の遺跡群Ⅶ－昭和62年度発掘調査報告書－（昭和63年3月）	第153集	南小泉遺跡－第20次発掘調査報告書－（平成3年3月）
第112集	東光寺遺跡－第1・2次発掘調査報告書－（昭和63年3月）	第154集	燕沢遺跡－第4・5・6次発掘調査報告書－（平成3年3月）
第113集	富沢遺跡－24次調査富沢中学校地区発掘調査報告書－（昭和63年3月）	第155集	年報12（平成3年3月）
第114集	富沢遺跡－第28次発掘調査報告書－（昭和63年3月）	第156集	郡山遺跡－第65次発掘調査報告書－（平成4年3月）
第115集	下ノ内浦遺跡－みやぎ生活協同組合店舗建設に伴う発掘調査報告書－（昭和63年3月）	第157集	杉土手・北前遺跡－杉土手（2次）・北前（4次）発掘調査報告書－（平成4年3月）
第116集	燕沢遺跡（昭和63年3月）	第158集	町田遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）
第117集	富沢遺跡第33次発掘調査報告書（昭和63年3月）	第159集	神柵遺跡発掘調査報告書（平成4年3月）
第118集	富沢遺跡第34次発掘調査報告書（昭和63年3月）	第160集	富沢遺跡－第30次調査報告書Ⅱ（旧石器編）－（平成4年3月）
第119集	泉崎浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年3月）	第161集	郡山遺跡ⅩⅡ－平成3年発掘調査概報－（平成4年3月）
第120集	谷津A,B遺跡芦見遺跡－錦ヶ丘ニュータウン関連遺跡調査報告書（昭和63年3月）	第162集	仙台平野の遺跡群ⅩⅠ－平成3年度発掘調査報告書－（平成4年3月）

番 号	書 名	番 号	書 名
第163集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(4)・下ノ内遺跡-富沢遺跡第70～75・77・79次・下ノ内遺跡第5次発掘調査報告書-(平成3年3月)	第205集	野川遺跡発掘調査報告書(平成8年3月)
第164集	南小泉遺跡-第21次発掘調査報告書-(平成4年3月)	第206集	中田南遺跡-第2次発掘調査報告書-(平成7年7月)
第165集	土手内-土手内遺跡・土手内窯跡・土手内横穴B地点発掘調査報告書-(平成4年3月)	第207集	下ノ内浦・山口遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅴ-(平成8年3月)
第166集	沼遺跡-仙台市上谷刈土地地区画整理事業関係調査報告書-(平成4年3月)	第208集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(9)-第92～94次発掘調査報告書-(平成8年3月)
第167集	年報13(平成4年3月)	第209集	笹森城跡発掘調査報告書(平成8年3月)
第168集	大蓮寺窯跡-第2・3次発掘調査報告書-(平成5年3月)	第210集	郡山遺跡XⅥ-平成7年度発掘調査概報-平成8年3月
第169集	郡山遺跡XⅢ-平成4年度発掘調査概報-(平成5年3月)	第211集	仙台平野の遺跡群XⅤ-平成7年度発掘調査報告書-(平成8年3月)
第170集	仙台平野の遺跡群XⅡ-平成4年度発掘調査報告書-(平成5年3月)	第212集	年報17(平成8年3月)
第171集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(5)-第78・80～85次発掘調査報告書-(平成5年3月)	第213集	中在家南遺跡他発掘調査報告書(平成8年12月)
第172集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(6)-第57・58・63・66・69次発掘調査報告書-(平成5年3月)	第214集	養種園遺跡発掘調査報告書(平成9年3月)
第173集	下ノ内浦遺跡第4次発掘調査報告書(平成5年3月)	第215集	郡山遺跡XⅦ-平成8年度発掘調査概報-(平成9年3月)
第174集	安久東遺跡第3次発掘調査報告書(平成5年3月)	第216集	仙台平野の遺跡群XⅥ-平成8年度発掘調査報告書-(平成9年3月)
第175集	洞雲寺遺跡発掘調査報告書(平成5年3月)	第217集	相ノ原遺跡・大貝中遺跡・川添東遺跡発掘調査報告書(平成9年3月)
第176集	年報14(平成5年3月)	第218集	四郎九郎跡-第2次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第177集	郡山遺跡-第94次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第219集	安久遺跡-第3次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第178集	郡山遺跡XⅣ-平成5年度発掘調査概報-(平成6年3月)	第220集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(10)-第86次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第179集	仙台平野の遺跡XⅢ-平成5年度発掘調査報告書-(平成6年3月)	第221集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(11)-第95～99・101次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第180集	大倉地区遺跡範囲確認調査報告書(平成6年3月)	第222集	郡山遺跡-第112次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第181集	北原街道B遺跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第223集	高屋敷遺跡ほか発掘調査報告書(平成9年3月)
第182集	中田南遺跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第224集	年報18(平成9年3月)
第183集	仙台東郊糸里跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第225集	南小泉遺跡-第26次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第184集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(7)-富沢遺跡第87次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第226集	南小泉遺跡-第30・31次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第185集	今泉遺跡-第3次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第227集	郡山遺跡-平成9年度発掘調査概報-(平成10年3月)
第186集	昭和北遺跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第228集	仙台平野の遺跡群XⅦ-平成9年度発掘調査報告書-(平成10年3月)
第187集	愛宕山横穴墓群-第3次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第229集	原遺跡-第1・2次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第188集	元袋遺跡-第2次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第230集	柳生台畑遺跡-(仮称)柳生小学校建設関係発掘調査報告書-(平成10年3月)
第189集	年報15(平成6年3月)	第231集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(12)-第102・103・106次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第190集	高柳遺跡調査報告書(平成7年3月)	第232集	神明社窯跡ほか発掘調査報告書(平成10年3月)
第191集	下飯田遺跡発掘調査報告書(平成7年3月)	第233集	年報19(平成10年5月)
第192集	南小泉遺跡-第22・23次発掘調査報告書-(平成6年10月)	第234集	郡山遺跡XⅨ-平成10年度発掘調査概報-(平成11年3月)
第193集	伊古田遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ-(平成7年3月)	第235集	富沢遺跡-第104次発掘調査報告書-(平成11年3月)
第194集	郡山遺跡XⅤ-平成6年度発掘調査概報-(平成7年3月)	第236集	後河原遺跡-第3・4次発掘調査報告書-(平成11年3月)
第195集	仙台平野の遺跡群XⅣ-平成6年度発掘調査報告書-(平成7年3月)	第237集	船渡前遺跡発掘調査報告書(平成11年3月)
第196集	南小泉遺跡-第25次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第238集	陸奥国分尼寺跡ほか発掘調査報告書(平成11年3月)
第197集	北目城跡発掘調査報告書(平成7年3月)	第239集	年報20(平成11年5月)
第198集	上ノ原山遺跡-国道286号線(茂庭工区)改良工事関係発掘調査報告書-(平成7年3月)	第240集	原遺跡-第3次発掘調査報告書-(平成11年12月)
第199集	六反田遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ-(平成7年3月)	第241集	沼向遺跡第1・2・3次発掘調査報告書-宮城県仙台背後土地地区画整理事業地内遺跡群Ⅰ-(平成12年3月)
第200集	四郎九遺跡発掘調査報告書(平成7年3月)	第242集	高田B遺跡発掘調査報告書(平成12年3月)
第201集	今泉遺跡-第4次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第243集	大野田古墳群・王ノ塚遺跡・六反田遺跡-仙台市富沢駅周辺地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ-(平成12年3月)
第202集	下ノ内浦遺跡-第5次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第244集	郡山遺跡XⅩ-平成11年度発掘調査概報-(平成12年3月)
第203集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(8)-第88・89次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第245集	鍛冶屋敷A・鍛冶屋敷前遺跡-市道富田富沢線関連遺跡発掘調査報告書-(平成12年3月)
第204集	年報16(平成7年3月)	第246集	欠ノ上Ⅱ遺跡発掘調査報告書(平成12年3月)

Ⅶ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番 号	書 名	番 号	書 名
第247集	五本松窯跡ほか発掘調査報告書（平成12年3月）	第289集	仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査(1)概要報告書(平成17年1月)
第248集	文化財年報21（平成12年5月）	第290集	大野田古墳群－第8次発掘調査報告書（平成17年2月）
第249集	王ノ壇遺跡－都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡－発掘調査報告書Ⅰ（平成12年9月）	第291集	大野田古墳群－第9次発掘調査報告書（平成17年2月）
第250集	郡山遺跡21－郡山遺跡・仙台平野の遺跡群 平成12年度発掘調査概報－（平成13年3月）	第292集	若林城跡－第4次発掘調査報告書（平成17年2月）
第251集	郡山遺跡－第124次発掘調査報告書－（平成13年3月）	第293集	南小泉遺跡－第43次発掘調査報告書－（平成17年3月）
第252集	大野田遺跡－第2次発掘調査報告書－（平成13年3月）	第294集	旧石切町の石工用具調査報告書（平成17年3月）
第253集	八木山緑町遺跡ほか発掘調査報告書（平成13年3月）	第295集	文化財年報26（平成17年9月）
第254集	文化財年報22（平成13年6月）	第296集	郡山遺跡26－郡山遺跡・仙台平野の遺跡群 平成17年度発掘調査概報－
第255集	中在家南遺跡(第3・4次)Ⅲ押口遺跡(第3次)発掘調査報告書(平成14年3月)	第297集	仙台北城跡6－平成17年度 調査報告書（平成18年3月）
第256集	若林城Ⅲ－第3次発掘調査報告書－（平成14年3月）	第298集	仙台北城本丸跡1次調査第2分冊 遺構編（平成18年3月）
第257集	原遺跡－第4次発掘調査報告書－（平成14年3月）	第299集	仙台北城跡地震災害石垣復旧事業及び史跡整備事業報告書 中門・清水門跡（平成18年3月）
第258集	郡山遺跡22－平成13年度発掘調査概報－（平成14年3月）	第300集	仙台北城跡・登城路1次調査（平成18年3月）
第259集	仙台北城跡1－平成13年度発掘調査概報－（平成14年3月）	第301集	前田館他発掘調査報告書（平成18年3月）
第260集	今市遺跡発掘調査報告書（平成14年3月）	第302集	仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査(2)概要報告書(平成18年3月)
第261集	小鶴城跡ほか発掘調査報告書（平成14年3月）	第303集	文化財年報27（平成18年9月）
第262集	文化財年報23（平成14年7月）	第304集	天賞酒造に係る文化財調査報告書（平成18年11月）
第263集	郡山遺跡23－平成14年度発掘調査概報－（平成15年3月）	第305集	大崎八幡宮の松焚祭と裸参り調査報告書（平成19年6月）
第264集	仙台北城跡2－平成14年度発掘調査概報－（平成15年3月）	第306集	若林城跡－第6次・第7次発掘調査報告書（平成19年3月）
第265集	山田上ノ台遺跡－第3次発掘調査報告書－（平成15年3月）	第307集	郡山遺跡27－平成18年度発掘調査概報－（平成19年3月）
第266集	国分寺東遺跡他発掘調査報告書（平成15年3月）	第308集	山田上ノ台遺跡概報－第5次発掘調査平成18年度概報－（平成19年3月）
第267集	文化財年報24（平成15年7月）	第309集	仙台北城跡7－平成18年度 調査報告書（平成19年3月）
第268集	王ノ壇遺跡－第5次発掘調査報告書－（平成15年7月）	第310集	松森城跡ほか発掘調査報告書（平成19年3月）
第269集	郡山遺跡24－平成15年度発掘調査概報－（平成16年3月）	第311集	大念寺山横穴墓群発掘調査報告書（平成19年3月）
第270集	仙台北城跡3－平成15年度 調査報告書－（平成16年3月）	第312集	川内A遺跡発掘調査報告書（平成19年3月）
第271集	仙台北城跡4－平成15年度 調査報告書－（平成16年3月）	第313集	富沢遺跡第138次発掘調査報告書（平成19年3月）
第272集	元袋遺跡（平成16年3月）	第314集	北目城跡第6次発掘調査報告書（平成19年3月）
第273集	富沢遺跡126次（平成16年3月）	第315集	長町駅東遺跡4区発掘調査報告書（平成19年3月）
第274集	保香院前遺跡他（平成16年3月）	第316集	仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査(3)概要報告書(平成19年3月)
第275集	仙台北城本丸跡1次調査第4分冊石垣図面編（平成16年3月）	第317集	文化財年報28（平成19年11月）
第276集	富沢遺跡－第131次発掘調査報告書－（平成16年3月）	第318集	桜ヶ岡公園遺跡第2次発掘調査報告書（平成19年12月）
第277集	壇腰遺跡発掘調査報告書（平成16年3月）	第319集	大野田古墳群第13次発掘調査報告書（平成20年2月）
第278集	上野遺跡－平成15年度確認調査・第5次発掘調査報告書－（平成16年3月）	第320集	下ノ内遺跡－第8次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第279集	文化財年報25（平成17年9月）	第321集	富沢遺跡－第140次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第280集	鴻ノ巣遺跡－第7次発掘調査報告書－（平成16年12月）	第322集	富沢遺跡－第141次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第281集	洞ノ口遺跡－第1次・2次・4次・5次・7次・10次発掘調査報告書－（平成17年3月）	第323集	若林城跡－第5次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第282集	仙台北城本丸跡1次調査第3分冊出土遺物編（平成17年3月）	第324集	長町駅東遺跡－第1次・2次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第283集	郡山遺跡発掘調査報告書－総括編－（平成17年3月）	第325集	南小泉遺跡－第28次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第284集	郡山遺跡25－平成16年度発掘調査概報－（平成17年3月）	第326集	南小泉遺跡ほか発掘調査報告書（平成20年3月）
第285集	仙台北城跡5－平成16年度 調査報告書－（平成17年3月）	第327集	郡山28－平成19年度発掘調査概報－（平成20年3月）
第286集	陸奥国分尼寺跡－第10次発掘調査報告書－（平成17年3月）	第328集	仙台平野の遺跡群XⅧ 平成19年度発掘調査報告書(平成20年3月)
第287集	山田本町遺跡他発掘調査報告書（平成17年3月）	第329集	山田上ノ台遺跡－第5次発掘調査平成19年度概報－（平成20年3月）
第288集	郡山遺跡－第162次1区・第164次発掘調査報告書(平成17年3月)	第330集	仙台北城跡8－平成19年度 調査報告書－（平成20年3月）

番 号	書 名	番 号	書 名
第331集	長町駅東遺跡－第8次発掘調査報告書－（平成20年3月）	第373集	宮城県仙台市郡山遺跡30－平成21年度発掘調査概報 郡山遺跡・大野田官衙遺跡－（平成22年3月）
第332集	柳生の手漉き和紙技術報告書（平成20年3月）	第374集	仙台北城跡10－平成21年度 調査報告書 仙台北城本丸大広間跡調査成果の総括－（平成22年3月）
第333集	旧石垣家住宅に係る解体・復元報告書（平成20年3月）	第375集	仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書①総括編（平成22年3月）
第334集	文化財年報29（平成20年9月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書②堀焼（平成22年3月）
第335集	桜ヶ岡公園遺跡－第3次発掘調査報告書－（平成20年12月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書③仙台北城・鍛冶屋（平成22年3月）
第336集	茂ヶ崎城跡－第2次発掘調査報告書－（平成21年2月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書④仙台北城・仙台北城（平成22年3月）
第337集	沼向遺跡－第35次発掘調査報告書－（平成21年2月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑤仙台北城の正月飾り（平成22年3月）
第338集	三神峯遺跡－第4次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑥仙台北城味噌（平成22年3月）
第339集	大野田古墳群－第14次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑦仙台北城の七夕飾り・仙台北城の竹細工（平成22年3月）
第340集	長町駅東遺跡－第3次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑧仙台北城の木綿染め（平成22年3月）
第341集	元袋遺跡－第6次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台北城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑨仙台北城・仙台北城の曲輪（平成22年3月）
第342集	仙台北城跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ－（平成21年3月）	第376集	文化財年報31 平成21年度（平成22年9月）
第343集	上野遺跡－第8次発掘調査報告書－（平成21年3月）	第377集	若林城跡 －第8次・第9次発掘調査報告書－（平成22年10月）
第344集	養徳園遺跡第2次・保春院前遺跡－都市計画道路「南小泉茂庭線」発掘調査報告書Ⅱ－（平成21年3月）	第378集	桜ヶ岡公園遺跡 －第4次発掘調査報告書－（平成22年11月）
第345集	山口遺跡他発掘調査報告書（平成21年3月）	第379集	三神峯 －三神峯遺跡第4・5次発掘調査 三神峯古墳群確認調査報告書－（平成22年12月）
第346集	仙台北野の遺跡群Ⅸ－平成20年度発掘調査報告書－（平成21年3月）	第380集	上野遺跡 －第10次発掘調査報告書－（平成23年1月）
第347集	宮城県仙台市郡山遺跡29－平成20年度発掘調査概報－（平成21年3月）	第381集	富沢遺跡 －第144次発掘調査報告書－（平成23年3月）
第348集	仙台北城跡9－平成20年度 調査報告書－（平成21年3月）	第382集	富沢遺跡 －第145次発掘調査報告書－（平成23年3月）
第349集	仙台北城跡 本丸1次調査報告書－石垣修復工事に伴う発掘調査報告書－ 第1分冊 本文編（平成21年3月）	第383集	若林城跡 －第11次発掘調査報告書－（平成23年3月）
第350集	仙台北城跡－追廻地区遺構確認調査報告書－（平成21年3月）	第384集	桜ヶ岡公園遺跡 －仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ－（平成23年3月）
第351集	仙台政府倉庫建造物調査報告書（平成21年3月）	第385集	川内B遺跡 －仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅴ－（平成23年3月）
第352集	生出森八幡神社の祭礼調査報告書（平成21年3月）	第386集	仙台北城跡 －仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅵ－（平成23年3月）
第353集	文化財年報30（平成21年9月）	第387集	葉師堂東遺跡 －仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成23年3月）
第354集	仙台北城跡登城路第2次調査－平成21年度 調査報告書－（平成21年9月）	第388集	西台畑遺跡第3次調査 －仙台市あすと長町土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅷ－（平成23年3月）
第355集	大野田古墳群－第17次発掘調査報告書－（平成21年12月）	第389集	郡山遺跡第19次調査 －仙台市あすと長町土地地区画整理事業に關連する都市計画道路長町八木山線発掘調査報告書（平成23年11月）
第356集	仙台北城跡－北方武家屋敷第2次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第390集	下ノ内遺跡・春日社古墳・大野田官衙遺跡ほか －仙台市富沢駅周辺土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ（平成23年12月）
第357集	貞山堀調査報告書－七北田川築堤護岸工事に伴う測量調査報告書－（平成22年2月）	第391集	郡山遺跡第200次調査 －仙台市あすと長町21街区・店舗建設に伴う発掘調査報告書－（平成23年3月）
第358集	郡山遺跡第144次調査－仙台市あすと長町土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ－（平成22年3月）	第392集	仙台北野の遺跡群21 －平成22年度発掘調査報告書－（平成23年3月）
第359集	西台畑遺跡第1・2次調査－仙台市あすと長町土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅴ－（平成22年3月）	第393集	法領塚古墳他 発掘調査報告書（平成23年3月）
第360集	沼向遺跡第4～34次調査－宮城県仙台北港背後地土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ－（平成22年3月）	第394集	宮城県仙台市郡山遺跡31－平成22年度発掘調査概報 郡山遺跡・大野田官衙遺跡・法領塚古墳－（平成23年3月）
第361集	中野高柳遺跡第1～5次調査－宮城県仙台北港背後地土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ－（平成22年3月）	第395集	仙台北城跡11 －平成22年度 調査報告書－（平成23年3月）
第362集	南小泉遺跡－第61次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第396集	文化財年報32 平成22年度（平成23年9月）
第363集	杏形遺跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ－（平成22年3月）	第397集	杏形遺跡第2・3次調査 －仙台市荒井東土地地区画整理事業に伴う発掘調査報告書－（平成24年2月）
第364集	大野田古墳群－第18次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第398集	六反田遺跡 －第9次発掘調査報告書－（平成24年3月）
第365集	上野遺跡第6・7次発掘調査－都市計画道路「富沢山田線」関係遺跡発掘調査報告書－（平成22年3月）	第399集	長町駅東遺跡第12次調査 －あすと長町28街区・店舗建築工事に伴う発掘調査報告書－（平成24年3月）
第366集	与兵衛沼遺跡－都市計画道路「川内・南小泉線」関係遺跡発掘調査報告書－（平成22年3月）	第400集	鴻ノ巣遺跡第9次発掘調査報告書（平成24年3月）
第367集	下ノ内浦遺跡－第7次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第401集	川内B遺跡ほか －仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅷ－（平成24年3月）
第368集	沼向遺跡第36次調査－宮城県仙台北港背後地土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅴ－（平成22年3月）	第402集	仙台北城跡ほか －仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅸ－（平成24年3月）
第369集	一本杉遺跡第2次調査（平成22年3月）	第403集	桜ヶ岡公園遺跡Ⅱ －仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅹ－（平成24年3月）
第370集	若宮前遺跡（平成22年3月）	第404集	仙台北野の遺跡群22 －平成23年度発掘調査報告書－（平成24年3月）
第371集	仙台北野の遺跡群ⅩⅩ－平成21年度発掘調査報告書－（平成22年3月）	第405集	郡山遺跡他 発掘調査報告書（平成24年3月）
第372集	上野遺跡他発掘調査報告書（平成22年3月）	第406集	宮城県仙台市郡山遺跡32 －平成23年度発掘調査概報 郡山遺跡・与兵衛沼遺跡－（平成24年3月）

Ⅶ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番 号	書 名	番 号	書 名
第407集	文化財年報33 平成23年度（平成24年9月）	第449集	仙台平野の遺跡群26 平成27年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書（平成28年3月）
第408集	南小泉遺跡第62次発掘調査報告書（平成24年9月）	第450集	宮城県仙台市郡山遺跡36－平成27年度発掘調査概報－（平成28年3月）
第409集	西台畑遺跡第8次調査－仙台市あすと長町26街区・高齢者福祉施設建設に伴う発掘調査報告書－（平成25年1月）	第451集	仙台北城跡東日本大震災復興旧事業報告書（平成28年9月）
第410集	富沢遺跡第146次発掘調査報告書（平成25年3月）	第452集	文化財年報37 平成27年度（平成28年9月）
第411集	西台畑遺跡第4・5・7次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成25年3月）	第453集	富沢遺跡 第149次発掘調査報告書（平成29年3月）
第412集	郡山遺跡第167・180・196次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成25年3月）	第454集	六反田遺跡 第14次発掘調査報告書（平成29年3月）
第413集	伊古田遺跡・大野田古墳群・下ノ内遺跡－仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成25年3月）	第455集	元袋遺跡・六反田遺跡・大野田古墳群ほか－仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成29年3月）
第414集	大野田遺跡・元袋遺跡・伊古田遺跡ほか－仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成25年3月）	第456集	元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか－仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成29年3月）
第415集	仙台平野の遺跡群23 平成24年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書－（平成25年3月）	第457集	仙台東災害復興関連区画整理事業関係遺跡発掘調査報告Ⅰ 平成26・27年度発掘調査報告書－（平成29年2月）
第416集	仙台市震災復興関係遺跡発掘調査報告Ⅰ 平成23年度・平成24年度震災復興民間文化財発掘調査助成事業に伴う発掘調査報告書－（平成25年3月）	第458集	杵形遺跡他 発掘調査報告書（平成29年3月）
第417集	宮城県仙台市郡山遺跡33－平成24年度発掘調査概報 郡山遺跡・与兵衛沼築跡－（平成25年3月）	第459集	仙台平野の遺跡群27 平成28年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書（平成29年3月）
第418集	文化財年報34 平成24年度（平成25年9月）	第460集	宮城県仙台市郡山遺跡37－平成28年度発掘調査概報－（平成29年3月）
第419集	南小泉遺跡 第67次発掘調査報告書（平成26年2月）	第461集	仙台北城跡12－平成28年度 調査報告書－（平成29年3月）
第420集	南小泉遺跡 第68次発掘調査報告書（平成26年3月）	第462集	仙台北消防階子乗り民俗文化財調査報告書（平成29年3月）
第421集	長町駅東遺跡第5・6・7・9次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成26年3月）	第463集	文化財年報38 平成28年度（平成29年9月）
第422集	長町駅東遺跡第10・11次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成26年3月）	第464集	貞山堀・藩生御蔵跡ほか－平成27・28年度藩生北部地区被災市街地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書－（平成30年3月）
第423集	長町駅東遺跡第13次調査－店舗付駐車場建築に伴う発掘調査報告書－（平成26年3月）	第465集	鍛冶屋敷前遺跡－第3次発掘調査報告書－（平成30年3月）
第424集	大野田遺跡第1次調査－都市計画道路「川内・柳生線」関係遺跡－発掘調査報告書Ⅲ（平成26年3月）	第466集	鍛冶屋敷A遺跡・富沢館跡・川前遺跡ほか－仙台市富沢駅西土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書－（平成30年3月）
第425集	荒井南遺跡第1次調査－仙台市荒井南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書－（平成26年3月）	第467集	西台畑遺跡第13次調査－仙台市あすと長町26街区・集合住宅建設に伴う発掘調査報告書－（平成30年3月）
第426集	富沢遺跡 第147次発掘調査報告書（平成26年3月）	第468集	洞ノ口遺跡ほか 発掘調査報告書（平成30年3月）
第427集	川内C遺跡ほか 発掘調査報告書（平成26年3月）	第469集	仙台平野の遺跡群28 平成29年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書（平成30年3月）
第428集	仙台平野の遺跡群24 平成25年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書（平成26年3月）	第470集	宮城県仙台市郡山遺跡38－平成29年度発掘調査概報－（平成30年3月）
第429集	宮城県仙台市 郡山遺跡34 平成25年度発掘調査概報－（平成26年3月）	第471集	仙台北城跡13－平成29年度 調査報告書－（平成30年3月）
第430集	宮城県仙台市 国史跡 陸奥国分寺跡 昭和46～50・53・54年度発掘調査報告－（平成26年3月）	第472集	朴沢学園裁縫教育資料調査報告書（平成30年3月）
第431集	「秋保の田植踊」の歴史と現在－秋保の田植踊民俗文化財調査－（平成26年3月）	第473集	文化財年報39 平成29年度（平成30年9月）
第432集	文化財年報35 平成25年度（平成26年9月）	第474集	若林城跡 第10次・12～15次発掘調査報告書－（平成31年3月）
第433集	西台畑遺跡第12次調査－仙台市あすと長町26街区・商業施設建設に伴う発掘調査報告書－（平成27年3月）	第475集	仙台東災害復興関連区画整理事業関係遺跡発掘調査報告Ⅱ 平成28・29・30年度発掘調査報告書－（平成31年3月）
第434集	中在家南遺跡第6次調査ほか－仙台市荒井西土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書－（平成27年3月）	第476集	今市遺跡ほか 発掘調査報告書（平成31年3月）
第435集	杵形遺跡第4次調査－仙台市荒井東土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書－（平成27年3月）	第477集	仙台平野の遺跡群29 平成30年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書（平成31年3月）
第436集	山の寺廃寺ほか 発掘調査報告書（平成27年3月）	第478集	宮城県仙台市 郡山遺跡39 平成30年度発掘調査概報－（平成31年3月）
第437集	仙台平野の遺跡群25 平成26年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書（平成27年3月）	第479集	仙台北城跡14 平成30年度 調査報告書－（平成31年3月）
第438集	宮城県仙台市 郡山遺跡35 平成26年度発掘調査概報－（平成27年3月）	第480集	文化財年報40 平成30年度（令和元年9月）
第439集	和田織部館跡 平成26年度藩生北部地区被災市街地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書－（平成27年3月）	第481集	京ノ中遺跡第2次調査－医療施設建設工事に伴う発掘調査報告書－（令和2年3月）
第440集	文化財年報36 平成26年度（平成27年9月）	第482集	六反田遺跡ほか 発掘調査報告書（令和2年3月）
第441集	西台畑遺跡第9次調査－あすと長町17街区・マンション建設に伴う発掘調査報告書－（平成28年3月）	第483集	仙台平野の遺跡群30 令和元年度 個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書（令和2年3月）
第442集	郡山遺跡第243次・西台畑遺跡第11次調査－あすと長町17街区・商業施設建設に伴う発掘調査報告書－（平成28年3月）	第484集	宮城県仙台市 郡山遺跡40 令和元年度発掘調査概報－（令和2年3月）
第443集	薬師堂東遺跡Ⅱ－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅺ－	第485集	仙台北城跡15 令和元年度 調査報告書・造酒屋敷跡総括報告書－（令和2年3月）
第444集	仙台北城跡－（仮称）公園センター建設に係る遺跡地区第4次～第6次発掘調査報告書－（平成28年3月）	第486集	文化財年報41 令和元年度（令和2年9月）
第445集	王ノ塚遺跡第6次発掘調査－都市計画道路「郡山折立線」関係遺跡発掘調査報告書－（平成28年3月）	第487集	桜ヶ岡公園遺跡 第5次発掘調査報告書－（令和3年2月）
第446集	荒井南遺跡他発掘調査報告書（平成28年3月）	第488集	桜ヶ岡公園遺跡 第6次発掘調査報告書－（令和3年2月）
第447集	燕沢遺跡－第14次発掘調査報告書－（平成28年3月）	第489集	仙台市震災復興関係遺跡発掘調査報告Ⅲ 平成27～令和2年度 震災復興民間文化財発掘調査助成事業に伴う発掘調査報告書－（令和3年3月）
第448集	仙台市震災復興関係遺跡発掘調査報告Ⅱ 平成24年度～26年度震災復興民間文化財発掘調査助成事業に伴う発掘調査報告書－（平成28年3月）	第490集	北目城跡ほか 発掘調査報告書（令和3年3月）

番 号	書 名	番 号	書 名
第491集	仙台平野の遺跡群31 令和2年度 個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(令和3年3月)	第533集	山田上ノ台遺跡 - 第5次発掘調査報告書(2) - (令和8年3月)
第492集	宮城県仙台市 郡山遺跡41 - 令和2年度発掘調査概報 - (令和3年3月)	第534集	仙台北城跡20 - 令和7年度 調査報告書 - (令和8年3月)
第493集	仙台北城跡16 - 令和2年度 調査報告書 - (令和3年3月)	第535集	文化財年報47 令和7年度 (令和8年9月) ※電子版のみ
第494集	文化財年報42 令和2年度 (令和3年9月)		
第495集	仙台市指定天然記念物 泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地モニタリング調査報告書 - 平成24年度～令和2年度調査 - (令和4年3月)		
第496集	日向遺跡 第1次発掘調査報告書 (令和4年3月)		
第497集	仙台平野の遺跡群32 令和3年度 個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書 (令和4年4月)		
第498集	穴田東窯跡ほか 発掘調査報告書 (令和4年4月)		
第499集	宮城県仙台市 郡山遺跡42 - 令和3年度発掘調査概報 郡山遺跡・陸奥国分寺跡 - (令和4年3月)		
第500集	仙台北城跡17 - 令和3年度 調査報告書 - (令和4年4月)		
第501集	文化財年報43 令和3年度 (令和4年9月)		
第502集	高江遺跡第1次発掘調査報告 - 仙台貨物ターミナル駅移転計画事業に伴う発掘調査報告書 - (令和4年12月)		
第503集	大野田古墳群第25次発掘調査報告 - 集合住宅建設工事に伴う発掘調査報告書 - (令和5年3月)		
第504集	富沢遺跡第157次発掘調査報告書 (令和5年3月)		
第505集	郡山遺跡ほか発掘調査報告書 (令和5年3月)		
第506集	仙台平野の遺跡群33 (令和5年3月)		
第507集	宮城県仙台市 郡山遺跡43 - 令和4年度発掘調査概報 郡山遺跡・陸奥国分寺跡 - (令和5年3月)		
第508集	仙台北城 青葉山公園整備事業に係る追跡地区 埋没堀跡(第7次)・広瀬川護岸石垣天端(第8次)発掘調査報告書(令和5年3月)		
第509集	文化財年報44 令和4年度 (令和5年9月)		
第510集	富沢遺跡第154次発掘調査報告書 (令和5年10月)		
第511集	蒲生御蔵跡第1次発掘調査報告書 (令和5年12月)		
第512集	長町駅東遺跡第14次発掘調査報告書 (1) (令和6年3月)		
第513集	沼向遺跡第37次発掘調査報告書 (令和6年3月)		
第514集	今市東遺跡ほか 発掘調査報告書 (令和6年3月)		
第515集	仙台平野の遺跡群34 (令和6年3月)		
第516集	宮城県仙台市 郡山遺跡44 - 令和5年度発掘調査概報 郡山遺跡・陸奥国分寺跡 - (令和6年3月)		
第517集	仙台北城跡18 - 令和5年度 調査報告書 - (令和6年3月)		
第518集	文化財年報45 令和5年度 (令和6年9月)		
第519集	羽黒前遺跡第1次発掘調査 - 土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書 - (令和7年3月)		
第520集	長町駅東遺跡第14次発掘調査(2) - 総合店舗建設に伴う令和2年度発掘調査報告書(令和7年3月)		
第521集	高江遺跡第2次発掘調査 - 土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書 - (令和7年3月)		
第522集	大野田古墳群第26次発掘調査 - 共同住宅建築に伴う発掘調査報告書 - (令和7年3月)		
第523集	中在家南遺跡ほか発掘調査報告書 (令和7年3月)		
第524集	仙台平野の遺跡群35 (令和7年3月)		
第525集	郡山遺跡45 (令和7年3月)		
第526集	仙台北城跡19 - 令和6年度 調査報告書 - (令和7年3月)		
第527集	山田上ノ台遺跡 - 第5次発掘調査報告書(1) - (令和7年3月)		
第528集	文化財年報46 令和6年度 (令和7年9月)		
第529集	山口遺跡第21次・下ノ内浦遺跡第8次調査 - 共同住宅建築に伴う発掘調査報告書 - (令和8年3月)		
第530集	仙台平野の遺跡群36 (令和8年3月)		
第531集	南小泉遺跡ほか発掘調査報告書 (令和8年3月)		
第532集	郡山遺跡46 (令和8年3月)		

文化財課職員録（令和7年4月1日現在）

課長 長谷川蔵人

管理係

係長 朝妻 良太
主査 佐竹 直人
総括主任 小田桐実紀子
主任 菅原 美咲
〃 沼田 愛
主事 五十嵐 愛
〃 石倉 蓮

整備活用係

係長 佐伯 修一
総括主任 津田 禎之
主任 及川 敏郎
〃 小野 洋平
主事 澤目 雄大
〃 妹尾 一樹
〃 佐藤 恒介
〃 山口 沙織

調査調整係

係長 及川 謙作
主査 橋本 和悠
〃 平山 瑞樹
主任 高橋 純平
主事 相澤 宏樹
〃 柴田 義大
〃 須貝 慎吾
〃 吉田 大
〃 小岩 優日

調査指導係

係長 鈴木 隆
主任 庄子 裕美
主事 早川 太陽

仙台城史跡調査室

室長 川後のぞみ
主査 塩川 和
主事 佐々木正憲
〃 大友 翔平
〃 柳澤 楓
〃 木村 恒
〃 富士原真愛



仙台市文化財調査報告書第535集

文化財年報 47

令和7年度

令和8年9月

編集・発行 仙台市教育委員会

仙台市青葉区上杉1丁目5-12
仙台市教育委員会文化財課

データ制作 社会福祉法人共生福祉会 萩の郷福祉工場

仙台市太白区鉤取御堂平38
TEL 022-244-0117

